

第2期 伊賀市子ども・子育て支援事業計画

【2020（令和2）年度】 事業進捗状況調書

☆達成率について

6段階評価（達成率）

A A（計画の内容を100%を超えて実施）

A（計画の内容を100%実施）

B（計画の内容を70%以上100%未満実施）

C（計画の内容を50%以上70%未満実施）

D（計画の内容を50%未満実施）

E（計画の内容を未実施）

伊賀市健康福祉部こども未来課

目 次

目標実現のための施策

1. 地域における子育て支援事業の充実
 - 1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供 1
 - 1-2 児童の放課後の過ごし方への支援 5
 - 1-3 地域における多様な子育て支援の充実 6
 - 1-4 子育て家庭への経済的負担の軽減 9
2. 安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり
 - 2-1 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進 11
 - 2-2 小児救急医療体制の充実 18
 - 2-3 子育ての相談・支援体制の充実 19
 - 2-4 家庭や地域の教育力の向上 21
3. 子どもの健全育成を推進するための体制づくり
 - 3-1 子どもの人権擁護の推進 26
 - 3-2 要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 28
 - 3-3 子育て交流の推進 35
 - 3-4 子どもが健やかに成長する環境づくり 40
 - 3-5 子どもをとりまく貧困対策の推進 45
4. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 - 4-1 職業生活と家庭生活との両立支援 49

計画の目標値等

2. 幼児期の学校教育・保育 51
3. 地域子ども・子育て支援事業 52

1.地域における子育て支援事業の充実

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考			
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画	
1	1・地域における子育て支援事業の充実	1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供	①保育サービスの充実	48	一時保育（一時預かり）事業	保育幼稚園課	保護者の疾病や育児疲れ、一時的に家庭で保育できない場合等、一時保育（一時預かり）事業が必要な地域での保育所（園）において保育を実施します。保護者が利用しやすいよう情報の提供、環境を整えます。	延利用者数	3,229	3,150	人	公立保育所（園）7か所、私立保育園9か所の計16か所で実施しました（延利用者数は曙保育園における休日の一時保育利用者数を除く）。	保護者のニーズに応え、実施できる体制を整えましたが、今年度はコロナ禍の中自宅待機を行うことにより、一時保育の利用が減少したと考えられます。	2,496	B	3,150	2,827	量の見込みに基づく目標値設定
2				48	一時保育（幼稚園預かり保育）事業	保育幼稚園課	保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施を推進します。	延利用者数	4,753	11,712	人	幼稚園及び認定こども園において、在園児の保護者の申出によって、降園時間後も引き続き預かり保育を実施しました。白鳳幼稚園：3,871人 青山よさみ幼稚園：520人	保護者のニーズに応え、幼児教育認定保護者の子育てを支援しました。4月年度当初は、新型コロナ緊急事態宣言で幼稚園は休園となったことで、利用者が少なくなっています。	4,391	D	11,712	10,294	量の見込みに基づく目標値設定のため、これまでの実績との隔たりが大きい。
3				48	延長保育事業	保育幼稚園課	保護者の多様な就労形態に対応するため、延長保育事業が必要な地域での保育所（園）において通常の保育時間を超えて午後7時まで保育を実施します。	利用者数	18	20	人	公立保育所（園）9か所、私立保育所（園）8か所の計17か所で実施しました。	保育者の多様な就労形態のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。今年度については、コロナ禍で就労時間の短縮等のため利用者が減少したと考えられます。	17	B	20	18	量の見込みに基づく目標値設定
4				49	休日保育事業	保育幼稚園課	休日保育事業が必要な地域での保育所（園）において日曜日、祝祭日の保育を実施します。	延利用者数	718	600	人	曙保育園で日曜、祝祭日における保育を実施しました。曙保育園への入所の有無に関係なく利用できます（延利用者数は休日の一時保育利用者数を含む）。	保護者のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。今年度については、コロナ禍で自宅待機を行うことで、休日保育の利用が減少したと考えられます。	443	B	600	600	
5				49	日本語を自然に学べる教育・保育の充実	保育幼稚園課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	箇所数	30	30	所（園）	日本語を身近に親しめる保育環境を整えるとともに、毎週1回保護者と一緒に、あるいは保育士と一緒に絵本を選ぶ貸し出しを実施しました。	園内の表示を日本語と対象の言語に翻訳したものにしたほか、言葉あそび等を取り入れることで生活の中で自然に日本語に親しみ、簡単な言葉での会話ができるようになりました。	30	A	28	29	
6				49	日本語を自然に学べる教育・保育の充実	学校教育課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	一人当たりの絵本貸出冊数	10	10	冊	保護者と一緒に絵本を選んだり、友だちと一緒に選んだりして、毎月1冊幼稚園の本を借りて家庭で読めるようにしました。	休園（4月）以外、毎月1回絵本を貸し出し、家庭での親子読書を推進しました。	11	AA	10	12	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
7			49	外国につながる りのある保護者 に対する相談 体制の充実	保育幼稚園課	外国につながる りのある保護者 に対し、おたよ りの翻訳や相談 時の通訳をする ために通訳を配 置します。	人数	1	1	人	外国につながる りのある保護者 に分かりやすい ように、毎月のお たよりやクラスだ よりの翻訳をし ました。また、相 談時や家庭訪問 時の通訳を実施 しました。	翻訳した文章を 示すことや通訳 を介しての会話 をすることで、 詳細に伝えるこ とが出来ました 。それにより、 保護者は安心し て相談できるよ うになっています 。	1	A	1	1	
8			49	保育所（園）の 統合・民営化に よる再編整備の 推進	保育幼稚園課	小学校区や保育 所（園）の規模 を考慮し、中規 模園（110人以 上）を基本とし た統合・民営化 による再編整備 を進めます。	公立保育所（園） 数	16	16	所（園）	保育所（園）の 統廃合、民営化 など、再編整備 を進めました。	依那古保育所と 依那古第2保育 所の再編整備を 進めており、R3 年度から統合、 民営化します。	14	B	14	14	
9			49	保育所（園）再 編整備に関する 協議の実施	保育幼稚園課	保育所（園）の 再編にあたり、 保護者や地域住 民に対し、施設 整備や統合内容 、民間運営制度 を説明するなど 協議を行う機会 を十分設けます 。	指標化で きない	-	-	-	依那古保育所と 依那古第2保育 所の再編整備に ついて、保護者 や地域住民への 説明や協議を十 分に行いました 。	依那古保育所と 依那古第2保育 所の再編整備（ 統合、民営化） について、保護 者や地域への説 明や周知を行っ ました。	-	-	-	-	
10			49	保育所（園）施 設の保育環境 整備の推進	保育幼稚園課	施設の老朽化等 に対応するため 、施設・設備の 補修や改修を行 い、安心・安全 な保育環境の維 持管理を行います 。	箇所数	30	16	所（園）	施設の老朽化等 に対応するため 、施設・設備の 補修や改修を行 いました。	施設の老朽化に ついて屋根防水 工事やトイレ改 修工事等を行っ ました。また、 新型コロナウイルス 感染拡大防止 のため、網戸設 置工事等を行っ ました。	16	A	14	14	R2から対象 を見直し、公 立保育所（園） のみにした。
11			49	保育所（園）に おける低年齢 児保育の推進	保育幼稚園課	保育所（園）入 所児童の低年齢 化にこたえるよ う保育環境を整 えます。	箇所数	30	30	所（園）	一人ひとりの 児童の発達や障 がいに対応した 保育ができるよ う、必要な保 育士を配置し保 育を実施しまし た。また、専門 性を高めるため の研修や専門職 との事例検討会 に積極的に参加 しました。	年齢に応じた 人数配置に努 め保育を実施 しました。その 中では、低年齢 保育の重要性 を理解した保 育の実践が必 要ですが、今 年度は新型コ ロナウイルス 感染症拡大防 止から検討会 や研修会が実 施できませんでした 。	30	A	28	29	
12			49	保育所（園）に おける障がい 児保育の充実	保育幼稚園課	児童の発達や 障がいに対応 した保育や療 育を行うため 専門性を高め 、障がい児保 育の充実を図 ります。	箇所数	30	30	所（園）	一人ひとりの 児童の発達や 障がいに対応 した保育がで きるよう、必 要な保育士や 保育補助を配 置し、保育を 実施しました 。また、専門 性を高めるた めの研修や専 門職との事例 検討会に積極 的に参加しま した。	相談事業を通 じて専門機関 と検討するこ とで、支援に 必要な子に 対応した対応 が分かり、保 育の質の向上 に努めること ができました。	30	A	28	29	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
13			49	地域や家庭との連携における人権保育の充実	保育幼稚園課	人権保育の一環として、一人ひとりを認めながら自尊感情を高め、友達のことも認めていける仲間づくりをするために、保育の研修等を行い、保育士の意識向上を図ります。また、家庭、地域と連携し、人権を大切にす	参加者数	613	700	人	伊賀市解放保育研究会で講演会を1回、推進交流会を3回、職員同士が解放保育について語り合う「語ろう会」を3回行い、保育士や保育所（園）に働く職員の意識の向上を図ります。	語ろう会ではH30年度に作成した解放保育基本方針をより具体的なものにし、保育実践につなげられました。研修会、交流会については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。	490	B	700	730	
14			49	保育士・幼稚園教員の研修機会の充実	保育幼稚園課	保育の資質向上のため各種研修会に参加し、保育の充実に努めます。また、市としての保育方針を策定し、実践を行い、保育の充実を図るとともに、保育士のさらなる資質向上に努めます。	参加者数	1,050	1,400	人	各研修会に積極的に参加し、保育の質の向上を図りました。また外部講師を招いて、課題別の研修会や所長研修、中堅保育士研修などのクラス別研修会を実施し、それぞれの資質向上を図りました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための研修会を実施し、感染予防の理解を深め実践することができました。	81	D	1,400	1,500	
15			49	保育士・幼稚園教員の研修機会の充実	学校教育課	幼稚園教育の質の向上をめざし、子育て支援に関する研修会に参加します。	延人数	40	50	人	研究会や研修会への参加や子育て支援をしている機関と連携をとって話を聞きます。	コロナ感染症拡大防止のため、様々な研究会・研修会が中止となり、リモートによる研修をしました。	36	B	50	50	
16			49	保育士・幼稚園教員の交流促進	保育幼稚園課	幼保連携のための研修会を開催し、連携の強化に努めます。	回数	6	6	回	研修会を開催し、各保育所（園）の子ども状況や日々の取り組み、保育内容について話し合う機会を持つ予定でしたが、今年度はすべての研修を中止としました。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての研修を中止としました。	0	E	6	6	
17			49	保育士・幼稚園教員の交流促進	学校教育課	幼保連携のための研修会を開催し、連携の強化に努めます。	回数	6	5	回	研修会を開催し、子どもの状況や日々の取り組み、保育・教育内容について話し合う機会を持ちました。	子どもの現状や日々の取り組みについて話し合いました。	5	A	5	6	
18			49	保育人材確保と保育士の業務負担軽減	保育幼稚園課	あらゆる機会を通じて保育人材確保に努めるとともに、保育士の業務負担を軽減するよう努めます。	参加人数	-	10	人	保育士資格取得を目指す学生アルバイトの募集や、潜在保育士の就職・復職に向けての体験セミナーを開催して、保育士の確保に努める予定でしたが、今年度はすべての研修を中止としました。また、保育の事務の見直しを行い事務軽減に努めました。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての研修を中止としました。また、保育所（園）へのPC増設を進め事務軽減に努めました。	0	E	10	13	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
19	1・地域における子育て支援事業の充実	1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供 ②学童期への円滑な接続	50	保育所(園)・幼稚園・認定こども園と小学校との連携体制の充実	保育幼稚園課	就学前保育や教育から小学校教育へとスムーズな移行ができるよう、保育要録や接続カリキュラムなどにより就学児童一人ひとりの状況を小学校と相談するなど連携を行います。また、保育所(園)、幼稚園、認定こども園の園児と小学校児童の交流に努めます。	箇所数	30	30	所(園)	保幼小の円滑な接続のために、各小学校区単位で保幼小接続カリキュラムを作成しました。個々の状況等を連携するために、保育要録の作成や小学校との話し合う機会を定期的に持ちました。また、今後も小学校児童との交流に努めます。	保幼小接続カリキュラムを作成し小学校と話し合う機会を持ち、その中で個々の状況の提供も行うことが出来ました。今後もカリキュラムを検討しながら作成し、書面、口頭での連携だけでなく、実際の子どもの様子を見てもらう場の設定を進めていく必要があります。	30	A	28	29	
20			50	保育所(園)・幼稚園・認定こども園と小学校との連携体制の充実	学校教育課	就学前保育や教育から小学校教育へとスムーズな移行ができるよう、保育要録や接続カリキュラムなどにより就学児童一人ひとりの状況を小学校と相談するなど連携を行います。また、保育所(園)、幼稚園、認定こども園の園児と小学校児童の交流に努めます。	交流回数	2	3	回	小学校に園児の様子を見学してもらったり、状況を相談し合ったり、接続カリキュラムについて話し合うなどして連携を図ります。小学校で1年生の授業の見学をしたり、一緒に活動して子ども同士の交流をする予定でしたが、実施できませんでした。	上野西小学校1年生と5歳児との交流会を2学期に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。	0	E	3	3	
21			50	保育所(園)・幼稚園と小学校との連携による研修会の開催	保育幼稚園課	連携の充実を図るため、小学校の運動会などに参加し交流を行います。また、小学校と連携して、各種研修会に参加します。	箇所数	30	30	所(園)	卒園した子どもの様子を授業参観や運動会などの行事を通して見学したり、保幼小連絡会などを通して各種研修会に参加しました。	お互いの子どもの状況や課題について、情報共有できる貴重な機会となりました。	30	A	28	29	
22			50	保育所(園)・幼稚園と小学校との連携による研修会の開催	学校教育課	連携の充実を図るため、小学校の運動会などに参加し交流を行います。また、小学校と連携して、各種研修会に参加します。	該当校当たりの回数	1	1	回	保幼小同和教育学習会や公開授業に積極的に参加しました。	本園から就学した小学校での保幼小同和教育学習会に参加し、授業を参観し話し合いを持ちました(中止になった学校もあります)。今年度は、新型コロナウイルス感染症のため運動会での交流はできませんでした。	1	A	1	2	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
23	1・地域における子育て支援事業の充実	①放課後児童の健全育成の充実	51	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	こども未来課	共働き家庭が増えるなか、昼間保護者がいない児童の健全育成を図るため、適切な遊びや生活の場を与え、希望する子どもが利用できるよう、待機児童の解消や未設置校区児童の利用について検討を行います。施設整備について、学校施設等の活用を検討します。	利用者数	低学年 463 高学年 83	低学年 658 高学年 85	人	共働き家庭が増えるなか、昼間保護者がいない児童の健全育成を図るため、適切な遊びや生活の場を提供し、希望する子どもが利用できるように努めました。また、待機児童の解消や未設置校区児童の利用について検討を行いました。	保護者の就労中の児童福祉向上に寄与しました。年度途中の退会者が増えていることで、安定した経営が困難となっています。未設置校区への設置に向けた協議、大規模小学校区の高学年の受入拡大への対応を検討していく必要があります。	低学年 598 高学年 83	B	低学年 646 高学年 89	低学年 611 高学年 103	量の見込みに基づく目標値設定
24			51	児童館事業	しろなみ児童館	放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。	延利用者数	7,163	3,600	人	放課後児童の見守り、児童間の問題解決や体験事業を行い、健全育成の推進を図りました。	保護者・児童ともに安心して過ごせる場所としてニーズは高いです。	4,887	AA	5,000	3,600	
25			51	児童館事業	まえがわ児童館	放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。	延利用者数	3,155	3,500	人	夏休みの開館で学力向上を図るとともに、体験・チャレンジ教室等を開催しました。	体験スクール・チャレンジ教室を通じて、参加児童が自ら考え行動し実現する経験を積み重ねた事により、自己肯定感の獲得、自尊感情の育成につながりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の中止または実施方法の変更などにより、参加人数が減少しました。	1,887	C	2,000	3,000	新型コロナウイルス対策により、子ども関連事業は学校の取り組み方法や休校などの影響で中止する場合があります。計画値を引き下げた。
26			51	児童館事業	老川児童館	放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。	延利用者数	604	700	人	老川児童館の開館時間に合わせて開放し、自主学習や遊びの場づくりを行いました。	広いグラウンドを少人数で活用するなど、ソーシャルディスタンスを保持しながら安全に過ごせる場所を提供することができました。遊具の点検は毎年行っていますが、不備が出た際の修繕や新設の費用捻出が困難になっています。	702	AA	735	800	
27			51	放課後子ども教室	生涯学習課	小学生を対象として、安心・安全な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進します。	箇所数	3 (1,648)	4 (1,700)	箇所 (児童延参加人数)	放課後に小学生の居場所を設けるため、地域の方々のサポートや交流の中で、子ども達とともに宿題やスポーツ・文化芸術活動等の取り組みを推進しました。また、玉滝地域において、開設希望があったため、来年度より活動が出来るよう支援を行いました。	新型コロナウイルス感染症拡大により活動を休止しました(1教室は今年度休止、2教室は一時休止)。来年度から新たに玉滝地域において放課後子ども教室の活動を行います。	3 (685)	B	4 (1,700)	4	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画	
28	1・地域における子育て支援事業の充実	①子育て支援サービスの充実	52	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）	こども未来課	未就学児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。	延利用回数	-	29,178	回	各子育て支援センターで通信を発行して利用者への情報提供を図りました。また、子育て相談や各種教室を開催しました。	通信の発行により各センターの利用促進を図ること、「孤育て」を未然に防ぎ、子育て世代の福祉向上に寄与しました。	14,844	C	21,984	25,398	量の見込みに基づく目標値設定 新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少した。	
29			52	子育て包括支援センター事業	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ①市内の子育て支援施設のネットワーク化を図るための会議を行います。	会議開催回数	2	2	回	子育て支援センター担当者会議を開催し、市内各子育て支援センターとの情報共有を実施しました。	どこの子育て支援センターを利用しても同一のサービスを受けることができるよう、今後も一体的な事業展開をすることで、伊賀市のどこで暮らしていても子育てしやすい環境を整えていきます。	2	A	2	2		
30			52	子育て包括支援センター事業	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ②子育てサークルの指導・育成、連携に努めます。	サークル登録団体数	0	5	件		ハイトピア伊賀の子育て団体登録を促し、登録団体の施設利用料を減免しました。	子育てサークルの自発的な活動を推進することで、子育て世代の横のつながりを構築し、楽しく子育てができる環境を今後も整えていきます。	5	A	5	5	
31			52	子育て包括支援センター事業	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ③子育て支援講演会等の各事業を実施します。	講演会開催回数	1	1	回		ファミリースマイルアップ講座を開催しました。	家族みんなで子育てをする意義や楽しさを学び、実践することで、家庭内の子育ての向上を図りました。	1	A	1	1	
32			52	病児・病後児保育（くまさんルーム）事業	こども未来課	病児及び病気の回復期にある幼児、児童を保護者に代わって一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援します。専門職のスタッフの確保に努めると共に、安定的な運営について検討します。	延利用者数	79	129	人		上野総合市民病院内で開設していた「くまさんルーム」は11月末をもって閉鎖し、12月1日より医療法人グリーンズウォードが伊賀市小田町内に開設したゆめこどもクリニック伊賀病児保育室へ業務委託し、病児保育事業を実施しました。病児保育室を設置することで、保護者の子育てと就労の両立の支援を行いました。	病気の回復期にある幼児、児童を保護者に代わって一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。新設した民間の病児保育室では、病気の児童への対応も可能となり、今後の利用促進が課題です。	78	C	178	326	量の見込みに基づく目標値設定のため、これまでの実績との隔たりが大きい。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
33			53	子育て短期支援(ショートステイ)事業	こども未来課	家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設等において一定期間子どもを養育し、子ども及びその家庭の福祉向上を図ります。	延利用者数	27	6	人日	家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設において一定期間、子どもを養育又は保護し、子ども及びその家庭の福祉向上を図りました。	家庭のニーズにあわせて預かり期間や場所等を調整し、その家庭が抱える課題へ適切に対応し、家庭での育児の負担を軽減することができました。	53	AA	6	6	量の見込みに基づく目標値設定
34			53	子育て相談広場「にんにんパーク」事業	こども未来課	自然のなかで親子のふれあいを楽しめる上野南公園を活用し、平日に就労している保護者等を対象として、子育て相談とからだ育てにつながる遊びを実施します。	延利用者数	352	265	人	上野南公園に子育て相談広場「にんにんパーク」を設置し、月1回(第2日曜日)事業を実施しました。	からだ育て事業の一環として、外でもいきり体を動かすことで、こどもの健全育成に寄与しました。日曜日に実施することで、平日就労の保護者の子育て不安の軽減を図ります。	182	C	180	350	新型コロナウイルスの影響により、12月からは相談のみの開催となった。
35			53	ファミリー・サポート・センター事業	こども未来課	育児の援助を受けたい人(依頼会員)と子育て支援ができる人(提供会員)を結びつけることで、保護者の育児と仕事の両立や地域での子育てを支援します。また、提供会員確保のために講習会を実施します。	延利用回数	-	800	件	ファミリー・サポート・センターを設置し、会員の支援を実施しました。	依頼会員に提供会員を派遣し、子育て世代のサポートをすることで、子育ての負担を軽減しました。	696	B	684	800	新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少した。
36			53	保育所(園)における子育て支援事業の充実	保育幼稚園課	保育所(園)での子育て支援(未就園児と一緒に遊ぶ、保健指導、育児相談)や園庭開放を計画に基づいて実施します。	箇所数	30	30	所(園)	未就園児と一緒に遊ぶ「遊びの広場」を計画的に開催し、その機会を通して、保健指導や育児相談を行う予定でしたが、実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な機会を持つことが出来ませんでした。	0	E	28	29	
37			53	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	健康推進課	生後4か月までの乳児のいる家庭を対象に、こんにちは赤ちゃん訪問を実施します。保健師や助産師等が全戸訪問を行い、乳児の身体計測及び育児に関する相談を受けます。育児環境等の確認も行います。	件数	545	544	件	生後4か月までの乳児の家庭を全戸訪問しました。育児不安や育児環境等の確認を行い、相談に応じるとともに、必要な家庭に対しては支援につなげました。	感染対策を徹底し、対象者すべての訪問ができています。	522	B	529	492	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
38			53	養育支援訪問事業	健康推進課	こんにちは赤ちゃん訪問で継続支援が必要と思われる家庭をはじめ、虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への保健師等による家庭訪問を実施します。また、各関係機関と連携をより深め、情報の共有を徹底します。	延訪問件数	188	180	件	継続支援が必要なケースに対して訪問を実施しました。必要に応じて各機関と連携し、情報共有を行いました。	特定妊婦やハイリスク家庭への訪問を継続的に実施しました。家児相や女性相談等と連携し情報共有に努めました。	201	AA	180	180	量の見込みに基づく目標値設定
39			53	利用者支援事業	健康推進課	妊娠期より個別支援計画を立て、妊娠・出産・育児期を切れ目なく支援でき安心して過ごせるよう、情報提供や相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行います。	箇所数	1	2	箇所	妊娠中からの切れ目のない支援システムの整備を行い、ケースの支援計画作成と関係機関との連絡調整を行いました。母子保健及び子育て支援コーディネーターが情報共有を行いました。	妊娠期より個別支援計画を作成し、関係機関と連携を取りながら切れ目のない支援を実施しました。	1	C	1	2	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
40	1・地域における子育て支援事業の充実	1-4 子育て支援家庭への経済的負担の軽減 ① 幼児教育・保育の無償化 手当・医療費の助成	54	幼児教育・保育の無償化	保育幼稚園課	幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳児から5歳児クラスまでの子ども、及び市民税非課税世帯の0歳児から2歳児クラスの子どもの対象に、幼児教育・保育の無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図ります。 また、3歳未満児クラスの保育料について、国制度を超えた第3子以降保育料無償化を引き続き実施します。	箇所数	-	42	所(園)	管内にある認可保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等(病児保育事業・子育て援助活動支援事業・預かり保育事業・一時預かり事業を含む)について幼児教育・保育の無償化を実施するとともに、伊賀市独自の第3子以降の保育料無償化を実施することで、子育て世帯の負担軽減を図りました。	管内にある認可保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等(病児保育事業・子育て援助活動支援事業・預かり保育事業・一時預かり事業を含む)について幼児教育・保育の無償化と伊賀市独自の第3子以降の保育料無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図りました。	41	B	41	41	
41			54	任意予防接種費用の助成	健康推進課	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成します。	インフルエンザ助成数	4,937	4,800	件	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成しました。	感染症予防対策として、継続して取り組みます。	4,902	AA	4,940	4,500	
42			54	児童手当支給事業	こども未来課	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当等を支給します。	受給者数	5,813	5,815	人	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当を支給しました。	児童手当等の支給を通して、家庭における生活の安定と児童の健全育成につなげます。	5,691	B	5,815	5,320	
43			55	子ども医療費助成制度	保険年金課	中学校修了までの子どもを対象に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	9,579	9,300	人	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学校修了までの子どもの医療費を助成しました。	中学校修了までの子どもの医療費を助成し、受給者の福祉の増進と子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。	9,307	AA	9,300	8,400	
44			55	児童扶養手当支給事業	こども未来課	ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。	受給者数	568	581	人	ひとり親家庭等が安定した生活を送れるよう、児童扶養手当を支給しました。	ひとり親家庭の生活の経済的な安定と自立を助け、児童福祉の増進を図ります。	584	AA	581	532	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
45			55	一人親家庭等医療費助成制度	保険年金課	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	一人親家庭等の対象者の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,393	B	1,400	1,350	
46			55	特別児童扶養手当の支給	こども未来課	身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。	受給者数	178	170	件	身体や精神に障がいのある20才未満の児童がいる家庭に対し、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するため特別児童扶養手当の申請受付等を行いました。	身体や精神に障がいのある児童の福祉増進を図ります。	186	AA	185	170	
47			55	障がい者医療費助成制度	保険年金課	身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方に医療費を助成します。 ※障害者保健福祉手帳1級または2級の方は通院分のみ助成	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	障がいのある人の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,598	B	1,600	1,600	
48			55	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業	こども未来課	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、利用料の助成を行います。	件数	25	20	件	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、申請に基づき利用料の助成を行いました。	生活困窮者またはその恐れがある世帯に対し、経済面で支援することで子育ての負担を軽減しました。	23	AA	20	20	

2.安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
49	2・安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり	2-1 母子保健並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進	57	母子保健事業	健康推進課	①母子健康手帳の交付	交付数	588	554	冊	母子保健コーディネーターが全数の面談を通して情報収集し、リスクアセスメントを行いました。	全数面談により妊婦の情報把握が確実に、またリスクアセスメントにより妊娠中から支援が必要なケースに早期からの関わりを開始できました。	542	B	532	502	
50				母子保健事業	健康推進課	②妊婦健康診査(医療機関委託)	②受診者数	7,002	7,560	人	14回分の健診費用を助成しました。	安心安全な出産のため、継続して取り組みます。	6,465	B	7,280	6,860	量の見込みに基づく目標値設定
51				母子保健事業	健康推進課	③産婦健康診査(医療機関委託)	受診率	-	94	%	産後2週間及び1か月に産後うつスクリーニングを含む健診を実施しました。	母子健康手帳交付時の説明を徹底したこと、また実施医療機関も拡大していることから、受診者は増加しています。	87	B	96	96	
52				母子保健事業	健康推進課	④新生児聴覚スクリーニング検査(医療機関委託)	受診率	-	92	%	新生児聴覚スクリーニング検査の費用の一部を助成しました。	母子健康手帳交付時の説明を徹底したことで、ほぼすべての方が検査を受けることができました。	93	AA	99	93	
53				母子保健事業	健康推進課	⑤乳幼児健診(4か月・10か月・1歳6か月・3歳)	1歳6か月児健診受診率	96	96	%	乳児健診は医療機関委託、幼児健診は集団で実施しました。	未受診者への勧奨連絡を徹底し、受診率は上がっています。	97	AA	98	98	
54				母子保健事業	健康推進課	⑥育児相談(随時対応)、2歳児相談	2歳児相談率	73	80	%	2歳児相談は1歳6か月児健診で経過観察になった児と健診未受診者を対象に実施しました。相談日の来所ができない場合、個別や電話での相談に応じました。	2歳児相談については未受診としないよう連絡を徹底したこと、及び相談日以外での個別相談に応じたことで、相談率は前年度と同程度となりました。新型コロナウイルス感染予防のため、希望者には電話相談で対応しました。	73	B	80	90	実績は来所のみで計上(電話相談は含めない)

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
55			57	母子保健事業	健康推進課	⑦電話相談(随時対応)	コーディネーターによる妊娠期の電話連絡数	-	544	件	出産予定日の1~2か月前に電話連絡します。産後の支援の状況や育児環境、不安などについて情報収集し、必要な支援につなげました。	出産前に電話することで、産後の支援状況等の確認ができ、ヘルパーなどの支援に繋ぐほか、里帰りの状況を把握して情報提供するなど、必要な支援につなげることができました。	383	B	480	492	
56			57	母子保健事業	健康推進課	⑧こんにちは赤ちゃん訪問事業	訪問率	100	100	%	乳児全戸訪問事業として、生後4か月までにすべての家庭を訪問しました。	新型コロナウイルス感染予防で延期したケースもありましたが、感染予防対策を徹底して短時間で効果的に訪問することで理解が得られ、対象すべての訪問が実施できました。	100	A	100	100	
57			57	母子保健事業	健康推進課	⑨家庭訪問指導事業	訪問件数	188	180	件	支援が必要な家庭を訪問し、保健指導を行いました。	支援が必要な家庭は増えており、また複数回の訪問が必要です。継続的に支援を行っていきます。	169	B	180	180	
58			57	母子保健事業	健康推進課	⑩産後ケア事業	利用者数	2	5	件	宿泊型・通所型については委託医療機関で、訪問型については助産師に委託し、育児不安の解消や授乳、育児についての指導を行いました。	事業の周知が進み、医療機関の協力もあり利用者が増加しました。訪問型・通所型・宿泊型のすべてで利用がありました。	9	AA	8	5	
59			57	母子保健事業	健康推進課	⑪その他の健康教室	実施回数	88	15	回	様々な年代の対象者に妊娠や出産、子育てに対する理解を深める機会を作りました。	子育て中の保護者やファミリーサポート対象の教室が主で、感染予防対策のため児童や学生に対する教室は実施できませんでした。	12	B	15	20	
60			57	5歳児発達相談事業	こども未来課	年中児を対象として保護者にアンケートを記入してもらい、保育所等での集団場面の観察を行うことで、社会性などの発達課題を発見するとともに、保護者からの相談に応じる機会とします。	箇所数	33	32	箇所	年中児を対象として保護者にアンケートを記入してもらい、児童発達支援センターと連携しながら、保育所等での集団場面の観察を行い、社会性などの発達課題について、保護者の相談に応じました。	個別対応方式の乳幼児健診からつながった発達面(認知・社会性・行動統制等)について、5歳年中児の集団行動観察により一人ひとりの発達特性が把握できました。その子が就学に向けて安心して進学できるよう、年長児一年間の支援策を含めた今後の方針について、保護者と関係機関と一緒に方向性を考えていきます。	32	A	31	31	保育園統廃合のため減少

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
61			57	ウェルカムベビー教室(両親学級)	健康推進課	妊婦とその夫や家族を対象に、妊娠・出産に関する講話や妊婦体験、沐浴、心音聴取などの体験と情報交換の場、仲間づくりを目的として、土・日曜日に教室を開催します。妊娠中の生活、出産や育児について理解を深め、夫や家族の協力を得ることで家族が育児に積極的にかかわれるよう支援を行います。	参加者数	85	80	組	妊婦とその家族に対して、妊婦体験や沐浴実習などの体験、赤ちゃんのいる生活や産後うつ予防についての話、DVDの視聴などを通じて、出産や育児について理解を深めてもらいました。	感染予防対策のため1回の人数を減らし、回数を増やす形で実施しました。参加者数は減少しましたが、参加者の満足度は高く、出産や育児への理解を深めてもらうことができました。今後はオンラインでの実施も検討していきます。	53	C	64	80	今までは20組×4回の開催だったが、新型コロナウイルス感染防止のため16組×4回の開催を予定しているため。
62			57	未熟児養育医療事業	保険年金課	種々の未熟性があり、入院治療を必要とする未熟児に対して、医療の給付を行います。	対象者数	23	20	人	入院治療を必要とする未熟児のいる世帯の経済的負担の軽減を図るため、養育に必要な医療の給付を行いました。	委任払いにより医療費の給付を行い、対象者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	28	AA	20	20	
63			57	未熟児養育医療事業	健康推進課	種々の未熟性があり、入院治療を必要とする未熟児に対して、医療の給付を行います。	指標化できない	-	-	-	入院治療が必要な未熟児に対し、医師の診断書を基に養育に必要な医療の給付を行いました。	医療費給付を行うことで、福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	-	-	-	-	
64			57	不妊に関する相談体制の整備	健康推進課	三重県が行う補助金と所得に応じ市による助成事業を行います。一般不妊治療や不育症に対しても助成事業を実施します。	新規申請者数	36	40	件	三重県が行う補助金と所得に応じて市による助成事業を行いました。一般不妊治療や不育症に対しても助成事業を実施しました。	不妊治療費は高額になるため、引き続き助成を行います。	54	AA	65	65	
65			57	要指導妊産婦に対するフォローの充実	健康推進課	特定妊婦や妊婦健診結果等で要支援となった妊産婦を対象に、訪問指導などを行います。	訪問実人数	25	20	人	特定妊婦やハイリスク妊婦など、妊娠中から関わりの必要なケースや産後も支援の必要な家庭に対し、継続的に訪問しました。	特定妊婦やハイリスク妊婦などに、妊娠中から関わりの必要なケースが増えています。	27	AA	30	30	
66			57	周産期における各機関との連携の強化	健康推進課	特定妊婦や要支援妊婦については周産期医療機関や各機関と早期より連携を行い、妊娠・出産・子育ての支援を行うように努めます。	医療機関からの連絡数	141	150	件	特定妊婦やハイリスク妊婦等について早期からの情報共有を行い、必要に応じて適切な時期に支援が行えるように医療機関と双方向に連携を取りました。	市内医療機関とは定期的に情報交換を行い、双方向の連携が取れています。妊婦健診・産婦健診の結果や退院時などの状況で連絡が入り、早期の支援に繋がっています。	141	B	150	150	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
67			57	要指導児に対するフォローの充実	健康推進課	乳幼児健診等において要経過観察となった児の健診結果について、小児科医と共有するための会議を開催し、乳幼児の健全な発育のための検討を行います。	会議数	3	3	回	定期的に小児科医等との会議を開催し、情報共有に努めました。	定期的な会議により、情報共有を行いました。	3	A	3	3	
68			57	福祉医療費助成制度《再掲》	保険年金課	医療費の一部を助成し、健康の保持と福祉の向上を図ります。 ①子ども医療費助成制度	登録者数	9,579	9,300	人	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学校修了までの子どもの医療費を助成しました。	中学校修了までの子どもの医療費を助成し、受給者の福祉の増進と子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。	9,307	AA	9,300	8,400	0
69			57	福祉医療費助成制度《再掲》	保険年金課	医療費の一部を助成し、健康の保持と福祉の向上を図ります。 ②一人親家庭等医療費助成制度	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	一人親家庭等の対象者の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,393	B	1,400	1,350	0
70			57	福祉医療費助成制度《再掲》	保険年金課	医療費の一部を助成し、健康の保持と福祉の向上を図ります。 ③障がい者医療費助成制度	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	障がいのある人の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,598	B	1,600	1,600	0
71			58	歯の健康づくりの充実	健康推進課	1歳6か月児健診、3歳児健診時に、歯科健診と歯科衛生士による歯磨きの指導を行います。また、乳幼児相談等の機会を利用して口腔衛生についての指導を行い、保護者の意識の向上につなげます。母子健康手帳交付時に、無料歯科健診受診券を交付し口腔衛生についての指導を行い、妊娠前から意識づけを行います。	3歳児健診で虫歯のない子の率	88	88	%	幼児健診時に歯科健診と歯科衛生士による歯科保健指導を行いました。母子健康手帳交付時に妊婦無料歯科健診受診券を交付し、妊娠前から意識づけを行いました。	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健診の案内を丁寧に行うことで、受診者が増えています。3歳児健診で虫歯のない子の率はあまり変化は少ないですが、虫歯のある子は複数虫歯がある状況で、歯科健診の機会に指導を実施することで、保護者の意識づけに努めました。	86	B	89	90	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
72			58	乳幼児事故防止の啓発	健康推進課	母子健康手帳交付時等に事故予防に関するパンフレットを配布します。赤ちゃん訪問時や幼児健診時や乳幼児相談時にも、月齢に応じたパンフレットの配布や指導を行うなど、啓発に努めます。	配布数	588	554	部	母子健康手帳交付時にパンフレットを配布し、事故予防について啓発を行いました。	母子健康手帳交付時にパンフレットを配布しました。	542	B	532	502	
73			58	予防接種の必要性を啓発するためのパンフレットの配布	健康推進課	出生届出時等に予防接種パンフレットの配布を行うなど、予防接種の必要性や正しい知識の普及と啓発を行います。	配布数	588	544	部	出生届出時等に予防接種パンフレットの配布を行うなど、予防接種の必要性や正しい知識の普及と啓発を行いました。	出生届出時に予防接種の問診票とパンフレットを配布しました。	542	B	532	492	
74			58	子育て支援ヘルパー派遣事業	こども未来課	産前・産後で心身の負担の大きい時期に母親の体調不良等により、家事や育児が困難な家庭にヘルパーを派遣します。	派遣回数	-	42	回	家事・育児等が困難な妊娠中又は満1歳未満の児童を養育する家庭に対してヘルパーを派遣しました。	家族等の援助が受けられない家庭の子育ての不安を軽減しました。保健師を通じてサービスが必要と思われる家庭に制度案内をしていますが、さらなる周知が必要であると思われます。	6	D	15	42	新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少した。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考			
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画	
75	2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり	2-1 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進	②からだそだて・食育の推進	58	保育所(園)・幼稚園での「からだそだて」の実施	保育所(園)や幼稚園で、子どもたちの身体感覚を高めるための保育内容を検討し実施します。 運動プログラムの作成、遊具等の環境整備を行います。	箇所数	30	30	所(園)	「からだそだて」を実施するため、「伊賀市版幼児の体力向上実践プログラムにんにんタイム」を引き続き各保育所(園)で実践します。 伊賀市保育方針の策定検討を関係機関や学識者とともにを行い、子どものからだそだてを発達を踏まえて進めていきました。	各保育所(園)で基本的に毎日「にんにんタイム」を実施し、運動習慣が定着してきました。 保育方針の策定検討を進めていく中でからだを育てる事の必要性を理解し、特に乳児保育の重要性を認識して伊賀市全保育所(園)で保育の方向性を確かめ合うことができました。	30	A	28	29		
76				58	保育所(園)・幼稚園での「からだそだて」の実施	保育所(園)や幼稚園で、子どもたちの身体感覚を高める保育・教育内容を実施します。 発達に合った「にんにんタイム」の動きを考えることにより、子どもたちの体力の向上や、基礎的な運動能力等を高めることを目指します。	活動時間数	175	120	時間	毎日3歳児40分、4歳児50分、5歳児1時間を目安に「にんにんタイム」を設定して、体を動かして遊びました。	1日保育(通常保育)の日は、毎日3歳児40分、4歳児50分、5歳児1時間「にんにんタイム」を実施し、体づくりに取り組みました。	138	AA	140	150		
77				58	妊産婦に対する食事指導の実施	健康推進課	母子健康手帳交付時に、食事に関するパンフレットを配布します。必要に応じて電話、訪問等による食事指導も行います。	配布数	588	554	部	母子健康手帳交付時に食事に関するパンフレットを配布しました。	母子健康手帳交付時にパンフレットを配布しました。	542	B	532	502	
78				59	離乳食教室の開催	健康推進課	離乳食教室を前期・後期にわけて開催します。教室では、調理実習を取り入れ、離乳食の実際についてより具体的に学べるようにします。また、離乳食の調理を見学しながら、学ぶ教室も実施しています。	教室開催数	-	10	回	新型コロナウイルス感染予防のため、2回の参加者数を減らし、希望者が多い月は回数を増やして対応しました。また、実習後の試食は中止としました。	密を避けるため人数を制限しましたが、回数を増やすことで参加者の希望に沿うことができたと考えています。	13	AA	12	12	
79				59	栄養相談・指導の充実	健康推進課	乳幼児相談や幼児健診時に、栄養士による栄養相談・指導を行います。随時電話相談や家庭訪問等も実施します。	栄養相談件数	940	800	件	緊急事態宣言時などは乳幼児相談を中止し、1歳7か月児健診時も栄養指導を希望者に限定するなど、相談件数は減少しました。離乳食の対象者に、栄養士による電話相談などを実施しました。	相談件数は減少しましたが、離乳食などタイムリーな指導が必要なものについては電話での相談体制をとることで対応できたと考えています。	427	C	800	800	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
80			59	子育て支援センターにおける食育・運動教室の実施	こども未来課	子育て包括支援センター及び子育て支援センターにおいて、食育に関する教室を実施します。また、からだそだて事業に取り組みます。	教室開催回数	82	66	回	毎月の子育て支援事業の中へ栄養士の講話、親子で体を動かす体操などを取り入れました。また、食育教室「もぐもぐ」を実施しました。	幼児期から食育の大切さを伝え、体を動かすことによって年齢に応じた体作りを実現しました。	37	C	52	82	新型コロナウイルス感染症防止のため、開催ができなかった。
81			59	保育所(園)、幼稚園、認定こども園での食育の推進	保育幼稚園課	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育・教育のなかで取り組みます。児童に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めます。	箇所数	30	16	所(園)	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育のなかで取り組みました。地場産食材をできる限り使用し、児童・生徒に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めてもらうことができました。	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育のなかで取り組みました。伊賀肉や伊賀米等地場産食材を給食の材料として使用し、児童・生徒に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めてもらうことができました。	16	A	14	14	R2から対象を見直し、公立保育所(園)のみにした。
82			59	保育所(園)、幼稚園、認定こども園での食育の推進	学校教育課	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育・教育のなかで取り組みます。児童に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めます。	育てた野菜を調理する回数	5	5	回	共通の食事の際は、栄養3色板を活用して、子どもも保護者も食に興味を持てるようにしました。園のプランターで野菜を育て、収穫した野菜を使って調理して食べました。	毎週1回の共通の食事の際は、栄養3色板を活用し、食材の栄養価や食に興味を持たせるようにしました。園の畑やプランターで育てた野菜を使って、できる範囲で調理して食べました。	5	A	5	5	
83			59	小中学校における食に関する指導計画の作成・実践	学校教育課	全小中学校で食に関する指導計画を作成し、実践します。児童生徒の実態に応じた食に関する指導を、系統的に進めます。	箇所	31	30	校	食について、興味関心をもつとともに、自分の食生活について考えることができたよう、食に関する指導計画を作成し食育を進めました。	食に関する指導計画を作成し、食育を進めました。今年度は、休業期間があったため計画通りに進められなかったため、来年度は状況を見ながら、計画の内容を精選するなど見直していく必要があります。	30	A	29	29	令和3年度より学校数が1校減。
84			59	「食育」を意識した学校での給食の充実	学校教育課	食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の教育のなかで食に関する体験活動に取り組みます。	箇所	-	30	校	地域の食材について、生産者から話を聴いたり、自分たちで栽培を行うなど、食に関する体験活動を進めました。	地域の食材について、生産者から話を聴いたり、自分たちで栽培する等の活動をおこないました。また、「いがスマイル給食」で提供された伊賀の特産食材のDVDを活用して、食や郷土についての学習を進めました。	30	A	29	29	令和3年度より学校数が1校減。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画	
85	2・安心して子どもを子育てられる子育て支援の体制づくり	2-2 小児救急医療体制の充実	①小児救急医療体制の充実	60	伊賀地域救急医療体制	医療福祉政策課	入院を必要とする小児二次救急については、市内の総合病院で年間を通じての診療体制を維持します。	維持する	-	-	-	入院を必要とする小児二次救急維持のため、24時間365日対応している岡波総合病院への運営支援に関する確認書を締結しました。	小児の二次救急医療体制の維持に努めました。	-	-	-	-	
86				60	伊賀市応急診療所の運営	医療福祉政策課	夜間・休日における、比較的軽症な方を対象とした一次救急(小児・一般)を行います。	維持する	-	-	-	夜間・休日における、比較的軽症な方を対象とした一次救急(小児・一般)を行いました。また、円滑な運営を行うため運営検討会を開催しました。受診者数(小児科)748人うち二次搬送35人運営検討会3回開催	小児の一次救急医療体制の維持に努めました。	-	-	-	-	
87				60	地域医療体制の充実	医療福祉政策課	地域医療体制の充実を図り、地域で安心して子育てのできる医療体制を進めます。	維持する	-	-	-	伊賀医師会等との連携のもと、地域で安心して子育てのできる医療体制の維持に努めました。	2019(令和2)年度に1医療機関が増加したものの、引き続き医療体制の確保が難しい状況にあります。	-	-	-	-	
88				60	小児医療に関する情報提供の充実	医療福祉政策課	小児医療に関する情報及び地域救急医療情報センターや、救急医療情報システムなどの救急医療情報について、ホームページに掲載し周知に努めます。また、チラシ配布や出生届時に配布する冊子に記載することで周知に努めます。	掲載	-	-	-	小児救急医療情報等について、ホームページに掲載するとともに、出生時や転入時に周知するため情報提供を行いました。また、お薬手帳カバーに「みえ子ども医療ダイヤル#8000」を掲載しました。	子育て家庭などに対して、今後も継続的に周知を行う必要があります。	-	-	-	-	
89				60	小児医療に関する情報提供の充実	健康推進課	小児医療に関する情報及び地域救急医療情報センターや、救急医療情報システムなどの救急医療情報について、ホームページに掲載し周知に努めます。また、チラシ配布や出生届時に配布する冊子に記載することで周知に努めます。	赤ちゃん訪問時配布数	588	544	部	小児医療に関するチラシを赤ちゃん訪問や幼児健診時に配布し情報提供しました。	小児医療に関するチラシを赤ちゃん訪問や幼児健診時に配布し情報提供しました。	522	B	532	492	
90				60	伊賀市救急相談ダイヤル24	医療福祉政策課	24時間体制で救急相談を受け付けるシステムを実施するとともに、周知に努めます。	実施	-	-	-	伊賀市救急・健康相談ダイヤル事業を実施(委託)し、各種相談を受け付けました。また、毎月広報に案内を掲載し周知に努めました。 小児に関する相談件数1,359件	「伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン」に位置づける救急医療事業に基づき、実施対象地域を伊賀市、京都府笠置町、京都府南山城村に奈良県山添村を加えたエリアに拡大しました。	-	-	-	-	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考			
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画	
91	2・安心して子どもを育てられる子育て支援の体制づくり	2-3子育ての相談・支援体制の充実	①子育ての相談・支援体制の充実	61	子育て相談の充実	子育て包括支援センター、子育て支援センター（市内7か所）において、子育て中の保護者からの育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	相談件数	514	463	件	子育て包括支援センター及び子育て支援センターにおいて、子育て相談を実施しました。	育児の不安や悩み、疑問の解消に寄与し、虐待等の危険を未然に防ぐことができました。	523	AA	456	500		
92				61	子育て相談の充実	保育所（園）、幼稚園、認定こども園において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	箇所数	-	33	所(園)	保護者の子育てに対する不安や悩み、疑問などの相談を受けたり、アドバイスや支援を行いました。	送迎時や家庭訪問を実施しながら保護者と会話する時間を大切にし、保護者の不安や気になることにアドバイスをしたり、必要な場合は専門機関につなぎました。	33	A	31	32		
93				61	子育て相談の充実	学校教育課	保育所（園）、幼稚園、認定こども園において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	延相談件数	-	200	件	子育てやしつけ、健康等について悩んでいる保護者の話を傾け、丁寧に支援しました。	子育て等について悩んでいる保護者に対し、日々相談・支援を行ったり、定期的個別懇談会で全保護者と話し合う機会を持ちました。	180	B	200	200	
94				61	子育て相談の充実	こども未来課	家庭児童相談室に家庭児童相談員を配置し、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。	延相談件数	2,191	2,000	件	家庭児童相談室等において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み、疑問などに関して、相談や支援を行いました。また、こども発達支援センターに家庭児童相談員を設置し、早期発見早期対応の拡充を図りました。	家庭における育児の不安や悩み、疑問の解消に寄与し、虐待などの危険を未然に防ぐことができました。また、子ども家庭総合支援拠点の設置に向けて検討が必要です。	2,025	AA	2,000	2,000	
95				62	福祉総合相談支援事業	地域包括支援センター	各支援機関のみでの対応が困難であったり、他分野にわたる支援が必要なケースについて、必要に応じ地域の支援者も含めた関係機関が集まり、会議を開催します。個別の事例について事例検討を行い、役割分担を明確にします。	開催回数	36	80	回	地域ケア会議、相談事案調整会議を開催し、支援の困難な事例について支援者で検討を行いました。	課題が複雑化・複合化した事案について、課題の整理や関係機関の役割分担を図ることができました。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため、一部の会議については開催延期又は中止としました。	36	D	80	80	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
96			62	福祉総合相談支援事業	地域包括支援センター	子ども、高齢者、障がい者等が住み慣れた地域で安心して生活するため、身近なところで、専門職が迅速かつ適切な相談支援を行います。	子どもに関する相談件数	13	25	件	福祉の一次相談窓口として、地域包括支援センター（中部・東部サテライト・南部サテライトの3か所）の三職種（社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員）がそれぞれの専門性を活かして相談を受け、適切な支援機関につなぎました。	世帯で複合的に課題を抱えるケースに対し、より専門的な支援につながるよう適切な支援機関と連携を行いました。	22	B	25	25	
97			62	子育て情報の収集・提供	こども未来課	市民が求める子育て支援情報を的確に把握し、毎月開催される子育て支援センター事業などを市広報、ホームページ、ケーブルテレビ等により効果的に情報提供を行います。	回数	30	12	回	毎月開催される子育て支援センター事業等を市広報やホームページ、ケーブルテレビ等で情報提供しました。	情報の提供により各子育て支援センターの利用促進を図り、「孤育て」を未然に防ぎ、子育て世代の福祉向上に寄与することができています。	18	AA	16	12	
98			62	生徒指導推進事業	学校教育課	SSW（スクールソーシャルワーカー）を配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のための連携を強化します。	活動日数	-	88	日	SSWを配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のために連携を強化しました。	2020(令和2)年度の相談ケース数はSSW2名で31ケース（小17・中14）となっています。いじめや不登校など諸課題が複雑化、多様化する中、今後より一層SSWの勤務を拡充し、関係機関と連携した対応を進めていく必要があります。	85	B	85	90	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考			
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画	
99	2・安心して子どもを育てられる子育て支援の体制づくり	2-4 家庭や地域の教育力の向上	①子どもの活動機会の充実	63	保育所(園)の園庭や保育室等の開放	保育幼稚園課	可能な限り園庭や保育室等の開放を行い、子育ての仲間づくりの場として役割を担います。	箇所数	30	30	所(園)	子育ての仲間づくりの場として、園庭開放や空き保育室等の開放を行う予定でしたが、実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでした。	0	E	28	29	
100				64	体験活動、勤労体験活動	学校教育課	小学校におけるさまざまな体験活動や、中学校における勤労体験活動(職場体験)など地域と連携しながらの活動を通して、社会性や連帯性など児童生徒の心の育成を図ります。	実施校数	31	30	校	小学校における体験活動や中学校における勤労体験活動(職場体験)など、地域と連携する活動を通して、社会性や連帯性など児童生徒の心の育成を図りました。	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中学生の職場体験活動は中止、小中学校における体験活動等についても、制限の中で精選しての実施となりました。しかし、各学校で工夫し、地域の方を講師として学校に招聘しお話を聞いたり、規模を縮小して見学や聞き取り活動を行ったりし、働いている方の思いに触れ、地域の産業について理解を深めるとともに、自分の将来について考えることができました。	30	A	29	29	令和3年度より学校数が1校減。
101				64	体験活動、勤労体験活動	上野図書館(各分館)	図書館を身近に感じ親しみを持ってもらうため、職場体験を受け入れ、勤労体験を通して、社会性を身につけるよう育成に努めます。	回数	26	14	回	司書からレファレンス方法・装備・資料登録等を学び、接客業務を体験することにより、図書館に親しみをもち、社会性を身につけるよう努めました。	新型コロナウイルス感染症対策のため、職場体験事業および社会体験研修が減少しました。今後ホームページや資料等を通じ、図書館の役割や仕組みを伝えていくことが必要です。	1	D	14	14	第1期計画と事業実施内容を変更して実施のため、R1実績数値と指標が異なります(第1期計画事業内容：工作や自由研究の取り組み方講座の開催)
102				64	子育て講座の開催	こども未来課	子育て(包括)支援センターが主催する講座を通じ、保護者と子どもが一緒に参加しながら成長を実感できる機会を提供することで、保護者の育児不安の軽減を図り、家庭保育の充実につながる支援をします。	回数	490	370	回	食育教室、運動あそび、離乳食教室、読み聞かせ等の講座を開催しました。	子育て支援センターで実施する教室を通じ、子育ての不安軽減を図り、家庭での保育が充実するよう支援しました。	225	C	384	530	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
103			64	子育て支援に関する人材育成講座の開催	こども未来課	地域住民が子育て支援活動に参加できるような講座を開催し、地域における子育て支援活動を支える人材の育成に努めます。	回数	1	1	回	地域で活動できる専門的な知識を持った市民を養成しました(ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座を兼ね、1回あたり24時間実施)。	地域や家庭において専門的な知識を持つことで、子育ての負担や不安を軽減することができます。	1	A	1	1	
104			64	子ども会活動の育成支援	生涯学習課	青少年健全育成のための諸活動を行い、子ども会連合会を育成するため、卓球大会・自然体験学習・ミステリー列車・リーダー研修等を行います。	延事業参加者数	1,408	1,500	人	上野児童福祉連合会 参加予定者数：①みんなの集まり50人②卓球大会250人③リーダー研修会50人④夏休み子ども自然体験教室50人⑤ミステリー列車300人⑥オセロ大会100人⑦映画上映会700人 開催予定でしたが、すべて中止としました。	新型コロナウイルス感染症拡大により、すべて中止としました。これまでのように、大勢が集まって実施する事業だけでなく、様々な方法を活用し、コロナ禍でもできる事業の計画が必要です。	0	E	500	1,500	新型コロナウイルス感染症拡大のため、各回の定員を減らして実施を検討した。
105			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	生涯学習課	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	149	200	人	ふるさと学習会 第1回：開校式・松尾芭蕉に関するさまざま体験(中止) 第2回：野外活動(杉焼クラフト制作・焼き芋体験)20人 第3回：しめ飾り作り(中止) 第4回：春の七草探しと伊賀の民話(中止) 第5回：伊賀焼作陶体験17人 第6回：松尾芭蕉に関するさまざま体験・開校式12人	新型コロナウイルス感染症拡大により、ほとんどの事業を中止としました。コロナ禍でも子どもたちに交流や学びの場を提供できるよう、計画・実施することが必要です。	49	D	140	200	新型コロナウイルス感染症拡大のため、各回の定員を減らして実施を検討した。
106			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	いがまち公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延利用者数	256	350	人	こども体験教室は全5回で、運動、俳句、手品、パン作りなど色々なことにチャレンジする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月までの教室が中止となり、パン作り教室のみの開催となりました。 青少年体験教室(夏休み)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、冬のスケート教室については2月に開催しました。	新型コロナウイルス感染症防止に伴う新しい生活様式を考慮した教室の企画運営が必要です。青少年を育てる会には市の補助があり、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮した青少年体験教室の内容や参加対象者についての検討が必要です。	175	C	200	400	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各回の定員及び開催回数を減らして実施を検討した。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
107			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	島ヶ原公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたちが自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	190	200	人	小学生を対象とした体験学習の機会を設けるとともに、中高生や大人のボランティアが事業に参加し、世代間交流を深めるために子どもちぎり絵 行灯作りや子ども押し花教室、子ども書道教室、竹灯りの宴事業等を計画していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策や夏休みの期間が短くなったため実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止としましたが、実施できない年が続くと地域とのかかわりや異年齢間の交流がますます少なくなるのが課題です。	0	E	140	230	新型コロナウイルス感染防止のため、各事業の定員を減らして実施を検討した。
108			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	阿山公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたちが自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	105	200	人	第1回：木工教室 第2回：加・ポ・ト教室 第3回：中止 第4回：こども陶芸教室 第5回：森林教室 第6回：こども紙すき体験教室 第7回：中止 第8回：中止	【効果】 体験教室を通じて、学校内の友達以外の輪を広げ、地域や団体の方々と交流することができました。 【課題】 コロナ禍ということもあり、申込者が少なかったです。	60	D	160	160	新型コロナウイルス感染防止のため、各事業の定員を20人に減らして8回の開催を予定していた。
109			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	大山田公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたちが自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	179	140	人	夏・冬休み子ども公民館教室は、コロナウイルス感染防止対策のため、実施できませんでした。	今年度は、コロナウイルス感染防止対策のため、夏休み・冬休み子ども公民館教室は実施できなかったため、次年度はオンライン教室等で開催するかが課題です。	0	E	100	140	
110			64	体験活動を通じた子ども自身の活動の支援	青山公民館	地域社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたちが自身が遊びや行事の企画ができるよう、また、異年齢間の交流を通してコミュニケーション力を養う支援をします。	延事業参加者数	181	181	人	「田植え体験」 「稲刈り体験」 「星たまごプラネタリウム」 「夏休み子ども体験講座」 「竹細工体験工房」 「里山餅つき体験講座」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、すべての事業を中止としました。	コロナ禍でも子どもたちに体験の場を提供できるよう、今後は「新しい生活様式」を取り入れた活動内容を検討する必要があります。	0	E	100	185	新型コロナウイルス感染防止のため、全ての事業を中止としました。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画	
111	2・安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり	2-4 家庭や地域の教育力の向上	② 保護者への学びの支援	65	家庭教育に関する講演会や研修会の開催	生涯学習課	家庭教育に関する講座などを実施します。	イベント数	2	1	回	社会教育委員の自主事業として、保護者や子どもを対象にした家庭教育に関する事業(講演会等)を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止としました。	次年度以降、ケーブルテレビも含めた情報通信技術(オンライン)の利用や対面形式での開催も検討します。	0	E	1	1	
112				65	子育て支援についての講演会・研修会等の開催	こども未来課	子育てや子育て支援について考える講演会や研修会を開催します。	回数	1	1	回	ファミリースマイルアップ講座を開催しました。	家族みんなで子育てをする意義や楽しさを学び、実践することで、家庭内の子育ての向上を図りました。	1	A	1	1	
113				65	父親の子育て参加を促す教室・講座・講演会などの開催	保育幼稚園課	父親が子育てに参加しやすいよう、保育所(園)の行事を工夫したり、講演会などを開催します。	箇所数	30	30	所(園)	父親が子育てに参加しやすいような運動遊びなどの内容で、行事や講演会を行いました。	参加しやすい内容と日程の検討や啓発を、今後もすすめていく必要があります。	30	A	28	29	
114				65	保育所(園)や幼稚園、小学校等を通じた、健康や子育てに関するおたよりの配布	保育幼稚園課	「保育所(園)だより」「保健だより」等を通して、各家庭に対して子育てや健康に関する情報を提供しよう努めます。	箇所数	30	30	所(園)	「保育所(園)だより」「保健だより」「食事だより」を毎月発行し、子育てや健康等について情報を提供しました。	保護者が見やすい、知りたい内容・情報を伝えられるように工夫していくことが必要です。	30	A	28	29	
115				65	保育所(園)や幼稚園、小学校等を通じた、健康や子育てに関するおたよりの配布	学校教育課	「園だより」「保健だより」等を通して、各家庭に対して子育てや健康に関する情報を提供しよう努めます。	発行回数	100	100	回	月2回「幼稚園だより」、月1回「保育のたより」「保健だより」、適宜発行「学年だより」を通して、幼稚園の取り組みや子育て、健康等についての情報を提供しました。	月2回「幼稚園だより」、月1回「保育のたより」「保健だより」、適宜発行「学年だより」を通して、幼稚園の取り組みや子育て・健康等についての情報を提供しました。	85	B	100	100	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
116			65	図書館の子ども向け図書の充実	上野図書館(各分館)	家庭での読書習慣をつけるため、図書の充実を図るとともに、絵本や児童書の特集コーナーを設置し、閲覧しやすい環境をつくります。	回数	248	100	回	児童向け特集コーナーや絵本書架上コーナーに各テーマに合わせ絵本や小説を紹介し、ホームページ等で周知しました。 また各分館図書室において、入園・入学おめでとう、職場体験コーナーなどを随時設け、読書への関心を高め、想像力豊かな子どもの育成に努めるとともに、乳幼児から本に親しむきっかけをつくるため、子どもたちが興味を持つ内容の特集コーナーを設置し、利用促進に努めました。	季節や時事にあわせた特集を組むことにより、読書への関心を高め、想像力豊かな子どもの育成に努めました。普段はなかなか手に取らない本と子どもを結びつける読書推進につながっています。 新型コロナウイルス感染防止対策のため、長時間の利用ができないことが課題です。 児童向け特集コーナー設置回数【上野26、いがまち12、島ヶ原13、阿山12、大山田27、青山6】	96	B	100	100	第1期計画と事業実施内容を変更して実施のため、R1実績数値と指標が異なります(第1期計画事業内容：ボランティアと連携した読み聞かせ会の開催)
117			65	読み聞かせボランティアの育成・支援	上野図書館(各分館)	読書の大切さを理解し、乳幼児期から、本に親しむきっかけをつくるため、市内の読み聞かせボランティアグループの支援を行いつつ、図書館(室)で読み聞かせ会を開催します。	回数	3	3	回	市主催の読み聞かせ事業に参加するため、情報共有する場を設けて活動支援に繋がりました。 また、分館図書室において、市内の読み聞かせボランティアグループと連携して乳幼児に本を読むきっかけづくりのための読み聞かせ会を開催しました。 夏休みや秋には、読み聞かせ会とともにスタンプラリーやぬいぐるみのおとまり会を実施しました。	読み聞かせ会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったこともありましたが、感染対策に努めながら参加者の人数を制限し行いました。 新しい生活様式として、オンライン配信の取り組みも必要です。 また、市内のボランティアグループと情報共有や研修会を行い、スキルアップを図る必要があります。 【読み聞かせ会の回数(うち乳幼児対象)：上野25(13)、いがまち2(1)、島ヶ原8(4)、阿山9(0)、大山田12(6)、青山15(9)】 【夏休みの読み聞かせ会の回数：上野2】	0	E	3	3	指標はボランティアグループに対する支援(スキルアップ研修)回数

3.子どもの健全育成を推進するための体制づくり

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
118	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	①児童虐待防止ネットワーク活動の充実・強化	66	児童虐待・DV防止のための関係機関の連携強化	こども未来課	「伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会」を設置し、要保護児童や特定妊婦等の早期発見や適切な支援を図り、DV被害者への適切な対応を行うため、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議等を実施し、児童相談所、警察署、民生委員・児童委員、保育所(園)、幼稚園、認定こども園、学校、保健師等の関係機関との連携を強化します。	会議回数	11	15	回	「伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会」を設置し、要保護児童や特定妊婦等の早期発見や適切な支援を図りました。また、DV被害者等への適切な対応を行うため、実務者会議、個別ケース検討会を実施し、児童相談所、警察署、民生委員・児童委員、保育所(園)、幼稚園、学校等の関係機関との連携を図りました。	児童虐待やDVに深く関わる機関が連携する場を提供することにより、迅速で効果的な支援につながります。	24	AA	15	15	
119			67	児童虐待・DVネットワーク会議を活用した講演会や研修会等の開催	こども未来課	伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会主催により、講演会や研修会を開催し、情報の共有や意識の向上を図り、児童虐待やDVの発生予防、早期発見に努めます。	研修回数	2	1	回	伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会主催により、講演会や研修会を開催し、情報の共有や意識の向上を図り、児童虐待やDVの発生予防、早期発見に努める必要がありましたが、新型コロナウイルス感染症のため実施できませんでした。	児童虐待やDVに深く関わる機関が連携しながら研修を積むことで、受講機関の発生予防や早期発見につながります。	0	E	1	1	
120			67	家庭児童相談事業	こども未来課	家庭児童相談員2名を配置し、子育てに悩みを抱えた親からの相談を受けます。また、学校や保育所(園)、幼稚園、認定こども園等からの相談や、子育て支援事業等を実施するなかで得た情報により、児童相談所や保育所(園)、幼稚園、認定こども園、学校、保健師等と連携を密にし、適切な支援に努めます。虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問の充実に努めます。	延家庭訪問件数	251	100	件	家庭児童相談員3名を配置し、子育てに悩みを抱えた親からの相談を受けました。また、学校や保育所(園)、幼稚園等からの相談や、子育て支援事業等を実施するなかで得た情報により、児童相談所や保育所(園)、幼稚園、学校、保健師などと連携を密にし、適切な支援に努めました。虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問を実施しました。	虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問を通じて、そのリスクを軽減したり家庭での悩みを解消することに寄与しました。また、こども発達支援センターが発見する被虐待児への対応を強化するため、同センターへ家庭児童相談員を配置したことで、連携がスムーズになりました。	202	AA	100	100	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
121			67	女性相談事業	こども未来課	女性相談員1名を配置し、女性が抱える人生のさまざまな悩みや、DVを受けたとき、セクシャルハラスメント、ストーカー被害、法律に関すること、離婚、金銭トラブルなどの相談に対応します。	延相談件数	207	243	件	女性相談員1名を配置し、女性が抱える人生のさまざまな悩みやDVを受けたとき、セクシャルハラスメント、ストーカー被害、法律に関すること、離婚、金銭トラブルなどの相談に対応しました。	要保護女子の（売春等への）転落防止に寄与しました。また、DV被害者に適切な支援を提供しました。	466	AA	243	243	
122			67	養育支援訪問事業《再掲》	健康推進課	こんにちは赤ちゃん訪問で継続支援が必要と思われる家庭をはじめ、虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への保健師等による家庭訪問を実施します。また、各関係機関と連携をより深め、情報の共有を徹底します。	延訪問件数	188	180	件	継続支援が必要なケースに対して訪問を実施しました。必要に応じて各機関と連携し、情報共有を行いました。	特定妊婦やハイリスク家庭への訪問を継続的に実施しました。家児相や女性相談等と連携し情報共有に努めました。	201	AA	180	180	量の見込みに基づく目標値設定
123			67	里親制度に関する情報提供の充実	こども未来課	児童相談所と連携し、市広報への掲載やパンフレットの配布等の啓発活動に努めます。	パンフレット等配布数	50	50	部	児童相談所や里親なんでも相談所「ほっこり」と連携し、市広報への掲載やパンフレットの配布等の啓発活動に努めました。	里親なんでも相談所「ほっこり」と連携し制度の普及啓発に努め、要保護児童の福祉向上に寄与しました。	150	AA	50	50	
124			67	生徒指導推進事業《再掲》	学校教育課	SSW（スクールソーシャルワーカー）を配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のための連携を強化します。	活動日数	-	88	日	SSWを配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のために連携を強化しました。	2020（令和2）年度の相談ケース数はSSW2名で31ケース（小17・中14）となっています。いじめや不登校など諸課題が複雑化、多様化する中、今後より一層SSWの勤務を拡充し、関係機関と連携した対応を進めていく必要があります。	85	B	85	90	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
125	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	①支援を要する子どもへの取り組み	68	療育支援事業の推進	保育幼稚園課	障がい児保育や乳幼児の療育支援事業の推進を図るため、障がいのある児童が適切な療育や保育が受けられるよう、かしのみ園への入所（通所）の可否等を審査するための判定会を、年2回開催します。	開催回数	-	2	回	受け入れ児童の判定会を開催するなど、障がい児保育や乳幼児の療育支援事業の推進に取り組みました。審査会を年2回開催しました。	今年度も2回の審査会を開催し、療育支援事業を進めることができました。	2	A	2	2	
126			69	療育支援事業の推進	障がい福祉課	障がいのある児童の障害児通所支援事業等を行います。	延利用者数	2,253	2,253	人	保健・福祉・保育・教育の各担当が情報を共有し、現状把握に努めるため、関係者との連絡を密に取りました。	保健・福祉・保育・教育の各担当が情報を共有し、地域における課題等の現状把握や関係機関との連携強化を図りました。	2,840	AA	2,450	2,253	
127			69	要観察児、保護者等を対象とした遊びの教室（にこにこ広場）の開催	健康推進課	1歳6か月児・3歳児健診等で要経過観察となった母子等を対象に、継続支援の教室（にこにこ広場）を実施します。	実施回数	56	60	回	少人数のグループでの親子のふれあいを通じて、児の発達を促すとともに、保護者の不安軽減に努めました。心理相談員による個別の発達相談を実施し、必要に応じて早期療育へつなげました。	新型コロナウイルス感染予防のため実施回数は減少しましたが、個別相談などで保護者の不安軽減に努め、必要に応じて早期療育につなげることができました。また、今後も個別支援を継続し、保護者及び児に必要な支援につなげていきます。	27	D	0	0	業務の見直し予定
128			69	伊賀市障がい者相談支援センター事業の充実	地域包括支援センター	身体、知的、精神障がいを対象とした、日常生活や福祉サービス利用にかかる相談・調整や支援の充実を図ります。	延相談支援件数	8,600	8,500	件	6人の相談支援専門員を配置し、障がいのある人及びその家族等からの相談に対応するとともに、障がい福祉サービスの利用等について調整を行いました。	増加する相談に対応するため、持続可能な相談支援のあり方について、相談事業所連絡会の中で検討し、令和2年12月より2つの特定相談支援事業所を試験的に1か所に集約して運営しています。	10,343	AA	8,750	8,700	
129			69	伊賀市子ども発達支援センター事業の充実	子ども未来課	子どもの成長・発達に不安のある保護者や、保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小・中学校等からの相談に対応します。また児童発達支援センター等の各関係機関と連携を図りながら、就学等ライフステージに応じた途切れない支援が受けられるように支援します。	延相談件数	2,767	2,400	件	子どもの発達に不安のある保護者や保育所（園）、幼稚園、学校等からの相談に応じ、児童発達支援センター等関係機関と連携しながら、子どもの発達に応じた支援が受けられるよう取り組みました。	発達の不安や対応方法への相談・助言を児童発達支援センターと連携しながらより早期に実施することで、こどもの発達特性に応じた適切な対応ができ、こどもの発達促進が期待できます。こどもの発達を見る力と対応方法の具現化に向けて各関係機関との連携がよりスムーズにできるよう、保育所（園）・幼稚園等における実態把握等の検討をしています。	2,041	B	2,500	2,700	コロナ感染拡大防止のため、学校・保育園訪問ができなかったため。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
130			69	伊賀市こども発達支援センター事業の充実	保育幼稚園課	子どもの発達・成長に不安のある保護者からの相談に応じ、伊賀市こども発達支援センターと連携して支援します。	箇所数	30	30	所(園)	子どもの発達・成長に不安のある保護者からの相談に応じ、適切な支援ができるよう連携を図りました。	こどもの発達特性に応じた支援ができるように、母子保健、保育、教育、療育機関など各機関との連携が今後も必要であると考えています。	30	A	28	29	
131			69	伊賀市こども発達支援センター事業の充実	健康推進課	各関係機関と連携を図りながら、ライフステージに応じた効率的な支援が提供できるよう、伊賀市こども発達支援センターと事業内容の検討や勉強会等を実施します。	会議数	-	6	回	こども発達支援センターと情報共有し、切れ目ない支援が行えるよう定期的に会議を行いました。	児童発達支援センターの体制についてや健診事後のフォローの体制等について情報共有を行いました。今後も効率的な支援が提供できるよう連携を深めていきます。	3	C	6	6	
132			69	保育所(園)における家庭支援推進保育の充実	保育幼稚園課	家庭支援推進保育士を継続して配置することにより、日常生活における基本的な生活習慣等について、特に家庭環境に対する配慮を必要とする児童の保育と保護者の支援を行います。	箇所数	6	6	所(園)	家庭支援推進保育士を配置し、家庭訪問や個別の相談時間を設け、きめ細やかな対応をすることで保護者支援に努めました。	基本的な生活習慣や子育て不安また家庭環境に対する配慮等きめ細やかな対応が今後も必要です。	6	A	6	6	
133			69	放課後児童クラブにおける障がい児の受け入れ	こども未来課	受け入れについて支援員を加配するなど、安心して利用できるような環境を整えます。	箇所数	18	17	箇所	心身に障がいのある児童の受入を推進するために指定管理者と協議を行い、受け入れ体制を整えました。	障がいのある児童を受け入れ、福祉向上に寄与しました。今後も保護者のニーズを確認しながら、必要な児童クラブにおいて取り組みを進めます。	19	AA	17	17	
134			69	障がい児に対する就学支援の充実	学校教育課	就学にかかわって、各小中学校と関係機関との連携を深め、巡回相談や教育相談を充実させるとともに、教育支援委員会につなげます。	教育支援委員会開催数	5	5	回	伊賀市こども発達支援センターや伊賀つばさ学園等と連携し、巡回相談や教育相談を実施し、教育支援委員会につなげました。	関係機関と支援状況について情報共有等の連携をすることによって、一人ひとりに応じた適切な支援につなげることができました。	5	A	5	5	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
135			69	特別児童扶養手当の支給 《再掲》	こども未来課	身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。	受給者数	178	170	件	身体や精神に障がいのある20才未満の児童がいる家庭に対し、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するため特別児童扶養手当の申請受付等を行いました。	身体や精神に障がいのある児童の福祉増進を図ります。	186	AA	185	170	0
136			69	障がい者医療費助成制度 《再掲》	保険年金課	身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方に医療費を助成します。 ※障害者保健福祉手帳1級または2級の方は通院分のみ助成	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	障がいのある人の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,598	B	1,600	1,600	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
137	3-子どもの健全育成を推進するための体制づくり	②ひとり親家庭への自立支援の推進	70	母子・父子自立支援員や関係機関による相談・情報提供の充実	こども未来課	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行います。	延相談件数	250	300	件	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行いました。	ひとり親家庭の自立に寄与しました。	205	C	300	300	
138			70	伊賀市自立支援教育訓練給付金事業	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、仕事に必要な資格や技術を身に付けるため、就業に結びつく可能性の高い教育訓練講座の受講料の一部を支給し、ひとり親家庭の親の主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立の促進を図ります。	件数	1	1	件	相談のなかで資格取得を促す事案もありましたが、申請に至りませんでした。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図りました。	ひとり親家庭の就労支援等について相談がある際には情報提供し、自立を促進しました。今後も引き続き市民への周知を行います。	0	D	1	1	
139			70	伊賀市高等職業訓練促進給付金事業	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、就職や転職に有利な資格（看護師・保育士等）を取得するため、養成機関で訓練を受ける場合に、その受講期間について促進給付金を支給します。また、養成機関への入学時における負担を考慮し、修了支援給付金をカリキュラム終了後に支給します。	支給月数	24	12	月	資格取得を促すことにより、ひとり親家庭の安定した自立を促進しました。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図りました。	ひとり親家庭の就労支援等について相談がある際には情報提供し、自立を促進しました。今後も引き続き市民への周知を行います。	20	AA	12	12	
140			70	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	こども未来課	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援します。	助成者数	0	1	件	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援する制度ですが、申請がありませんでした。	ひとり親家庭の実情に応じた支援を可能とし、必要に応じて情報提供を行いました。	0	D	1	1	
141			70	母子寡婦福祉団体自主事業への支援	こども未来課	母子寡婦福祉団体等に対する活動支援及び連携に努め、ひとり親家庭や寡婦の自立促進に向けた取り組みを推進します。	自立支援員の配置数	1	1	人	伊賀市母子寡婦福祉会の母子家庭や寡婦の一層の自立促進と社会貢献、福祉の向上のための支援を行いました。また、母子父子自立支援員を1名配置し、ひとり親家庭等からの相談体制を整えました。	母子寡婦福祉団体への支援体制を整えることにより、団体の会員同士の交流が促進され、相互の助け合いを構築することで福祉向上に寄与しました。また、母子父子自立支援員が関わることで、専門的な助言を行いました。	1	A	1	1	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
142			70	一人親家庭等医療費助成制度《再掲》	保険年金課	†8歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	一人親家庭等の対象者の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,393	B	1,400	1,350	0
143			70	ひとり親家庭の保育所(園)への優先入所の推進	保育幼稚園課	ひとり親家庭の就労や求職活動を支援するため、優先的な入所に取り組みます。	保育所(園)のひとり親世帯児童数	206	200	人	入所調整において加点するなど、優先的な入所に取り組みました。	ひとり親家庭の子育てを支援するため、継続して取り組みます。	233	AA	200	200	
144			70	ひとり親家庭の放課後児童クラブの利用の支援	こども未来課	ひとり親家庭が地域のなかで安心して子育てと就労との両立が図れるよう、利用料の減免を行い、放課後児童クラブが利用しやすい体制を整えます。	対象者数	56	58	人	一人親家庭等医療費助成受給世帯に対し、利用料金の減免を行い、より放課後児童クラブを利用しやすい体制を整えました。	ひとり親世帯に対し経済的な支援をすることで、生活の安定を図りました。	70	AA	56	50	
145			71	ひとり親家庭の公営住宅の入居への優先資格制度の充実	住宅課	ひとり親家庭(母子)の生活支援として、公営住宅入居の優先入居制度を活用するよう情報提供し、周知を図ります。	抽選会実施回数	2	2	回	市営住宅の入居者募集時に、ひとり親家庭(母子)の優先入居住宅を設定し、広報いが、ケーブルテレビ文字放送を通じて情報提供を行いました。	年2回(7月、1月)の入居者募集において、7月募集時には1戸の優先入居が設定でき入居までつながりませんが、1月募集時には募集戸数が少なかったため優先入居の設定ができず、全体での募集となりました。今後も引き続き優先入居の設定に努めます。	1	C	1	2	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
146			71	ひとり親家庭の公営住宅の入居への優先資格制度の充実	こども未来課	ひとり親家庭の生活支援として、公営住宅入居の優先資格制度の情報提供と、申請に必要なひとり親であることの証明書を発行します。	発行数	3	15	件	ひとり親家庭の自立支援の一環として、市営及び県営住宅の入居を希望される方へ入居の優先資格制度の案内と入居申請時に必要な「母子世帯証明書」を発行しました。	証明書発行により、ひとり親世帯が自身の生活プランを実現する支援を行いました。件数は多くありませんが、継続して実施していきます。	15	A	15	15	
147			71	母子・父子寡婦福祉資金貸付金制度の充実	こども未来課	ひとり親家庭や寡婦の経済的自立や子どもの福祉を図るため、低利または無利子での各種資金の貸付について、相談を受けるなかで貸付制度の利用が適切と思われる方に対し適切につなげます。	貸付件数	10	5	件	ひとり親家庭や寡婦の経済的自立や子どもの福祉を図るため、低利または無利子での各種資金の貸付について、相談を受けるなかで貸付制度の利用が適切と思われる方に対し、適切につなげました。	ひとり親家庭の経済的自立に寄与しました。今後も継続して取り組みます。	5	A	5	5	
148			71	児童扶養手当支給事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。	受給者数	568	581	人	ひとり親家庭等が安定した生活を送れるよう、児童扶養手当を支給しました。	ひとり親家庭の生活の経済的な安定と自立を助け、児童福祉の増進を図ります。	584	AA	581	532	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
149	3-子どもの健全育成を推進するための体制づくり	③外国につながる子どもの対応などきめ細かな取り組みの推進	71	学習支援教室「ささゆり」	市民生活課	関係団体やボランティアと協働し、外国にルーツを持つ児童生徒に、日本語による教科学習支援を行います。	回数	948	35	回	伊賀市国際交流協会に委託し、毎週土曜日の実施を予定していましたが、対面による指導が実施できなくなりました。	コロナの影響により、対面による指導が実施できなくなりました。高校進学につながる支援を引き続き行います。	22	C	30	30	R2から指標を開催回数に変更（R1実績値は延利用人数を計上）。
150			71	初期適応指導	学校教育課	初めて日本に来た、日本語指導が必要な児童生徒に、生活言語、学習言語、学校生活等について、集中的に学習指導するほか、在籍校では、加配教員、外国人児童生徒教育サポーターを配置し、学習のサポートを行います。	特別の教育課程による日本語指導実施率	-	90	%	外国人児童生徒の在籍校において「特別の教育課程による日本語指導」計画を作成し、対象児童生徒への支援を計画的、継続的に行いました。	外国人児童生徒の在籍校において、日本語指導が必要な児童生徒全員に「特別の教育課程による日本語指導」を計画、実施することができました。	100	AA	100	100	
151			71	高校進学等に向けた進路保障	学校教育課	「外国につながるをもつ子どもと保護者の進路ガイダンス」を実施し、児童生徒、保護者に対して進学に向けたサポートを行います。	参加者数	-	80	人	関係機関と連携し「外国につながるをもつ子どもと保護者の進路ガイダンス」を実施しました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、「外国につながるをもつ子どもと保護者の進路ガイダンス」を実施しました。多言語でのガイダンスを行うことで、参加者にとって役立つ情報を提供することができました。	44	C	40	250	令和2年度はコロナ対策で3密を避けるため中学3年生のみを対象として実施した。令和3年度も同様の規模で実施の予定。
152			71	日本語を自然に学べる教育・保育の充実《再掲》	保育幼稚園課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	箇所数	30	30	所(園)	日本語を身近に親しめる保育環境を整えるとともに、毎週1回保護者と一緒に、あるいは保育士と一緒に絵本を選ぶ貸し出しを実施しました。	園内の表示を日本語と対象の言語に翻訳したものにしたり、言葉あそび等を取り入れることで生活の中で自然に日本語に親しみ、簡単な言葉での会話ができるようになりました。	30	A	28	29	0
153			71	日本語を自然に学べる教育・保育の充実《再掲》	学校教育課	外国につながるのある子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。	一人当たりの絵本貸出冊数	10	10	冊	保護者と一緒に絵本を選んだり、友だちと一緒に選んだりして、毎月1冊幼稚園の本を借りて家庭で読めるようにしました。	休園（4月）以外、毎月1回絵本を貸し出し、家庭での親子読書を推進しました。	11	AA	10	12	0
154			71	外国につながるのある保護者に対する相談体制の充実《再掲》	保育幼稚園課	外国につながるのある保護者に対し、おたよりの翻訳や相談時の通訳をするために通訳を配置します。	人数	1	1	人	外国につながるのある保護者に分かりやすいように、毎月のおたよりやクラスだよりの翻訳をしました。また、相談時や家庭訪問時の通訳を実施しました。	翻訳した文章を示すことや通訳を介しての会話をすることで、詳細に伝えることが出来ました。それにより、保護者は安心して相談できるようになっています。	1	A	1	1	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考			
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画	
155	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	3-3 子育て交流の推進	①子育てネットワークづくり	72	関係機関の連携による子育て支援ネットワークの構築	こども未来課	子育て家庭に対して、きめ細やかなサービスや情報の提供が行えるよう民間の協力を得たリーフレットの配付や配置、市ホームページの充実にも努めます。	回数	-	12	回	子育て（包括）支援センターが発行する通信を、協力の得られる民間施設等毎月1回配布しました。	普段公共施設を利用しない子育て世代の方々にも情報を提供することができ、福祉の向上に寄与することができています。	12	A	12	12	
156				72	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）《再掲》	こども未来課	未就学児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。	延利用回数	-	29,178	回	各子育て支援センターで通信を発行して利用者への情報提供を図りました。また、子育て相談や各種教室を開催しました。	通信の発行により各センターの利用促進を図ることで、「孤育て」を未然に防ぎ、子育て世代の福祉向上に寄与しました。	14,844	C	21,984	25,398	量の見込みに基づく目標値設定 新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少した。
157				72	子育て包括支援センター事業《再掲》	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ①市内の子育て支援施設のネットワーク化を図るための会議を行います。	会議開催回数	2	2	回	子育て支援センター担当者会議を開催し、市内各子育て支援センターとの情報共有を実施しました。	どこの子育て支援センターを利用しても同一のサービスを受けられることができるよう、今後も一体的な事業展開をすることで、伊賀市のどこで暮らし続けていても子育てしやすい環境を整えていきます。	2	A	2	2	0
158				72	子育て包括支援センター事業《再掲》	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ②子育てサークルの指導・育成、連携に努めます。	サークル登録団体数	0	5	件	ハイトピア伊賀の子育て団体登録を促し、登録団体の施設利用料を減免しました。	子育てサークルの自発的な活動を推進することで、子育て世代の横のつながりを構築し、楽しく子育てができる環境を今後も整えていきます。	5	A	5	5	0
159				72	子育て包括支援センター事業《再掲》	こども未来課	子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ③子育て支援講演会等の各事業を実施します。	講演会開催回数	1	1	回	ファミリースマイルアップ講座を開催しました。	家族みんなで子育てをする意義や楽しさを学び、実践することで、家庭内の子育ての向上を図りました。	1	A	1	1	0
160				73	子育て支援サークルの活動支援	こども未来課	子育て支援サークル活動の活性化を図るため、活動場所や活動に必要な情報提供等を行います。	サークル登録団体数	-	5	件	ハイトピア伊賀の子育て団体登録を促し、登録団体の施設利用料を減免しました。	子育てサークルの自発的な活動を推進することで、子育て世代の横のつながりを構築し、楽しく子育てができる環境を整えます。	5	A	5	5	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
161			73	保育所(園)、幼稚園、認定こども園の行事や地域の行事を通じた園児と高齢者との交流推進	保育幼稚園課	子どもの豊かな心や思いやりの心が育つよう高齢者との交流を行います。	箇所数	30	30	所(園)	保育所(園)の行事に招待したり、積極的に地域の行事に参加して高齢者との交流を行う予定でしたが、今年度の事業は中止としました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の事業は中止としました。	0	E	28	29	
162			73	地域住民と子どもや子育て家庭との交流の機会づくり	保育幼稚園課	保育所(園)において地域のボランティアと交流を行います。	箇所数	30	30	所(園)	保育所(園)に地域で活動しているボランティアにきてもらい園児との交流を行う予定でしたが、今年度の事業は中止としました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の事業は中止としました。	0	E	28	29	
163			73	地域住民と子どもや子育て家庭との交流の機会づくり	学校教育課	幼稚園において、民生委員・児童委員、主任児童委員や地域のボランティアと交流を行います。	回数	2	1	回	地域のサロンの方と交流を行う予定でしたが、今年度の事業は中止としました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は地域のサロンの方との交流会は中止としました。	0	E	1	1	
164			73	子どもの育成団体への支援	生涯学習課	家庭・地域・学校などが連携して青少年健全育成地域活動支援事業の助成を行い、青少年の健全育成活動を推進します。	団体数	2	1	団体	昨年度からの継続1団体において、青少年健全育成地域活動支援事業を実施しました。	新型コロナウイルス感染症拡大により、計画どおりの実施が難しい中、団体の特色を生かした事業が実施されました。 地域で活動する団体への周知が必要です。	1	A	1	2	
165			73	児童館事業の充実(こども夏まつり)	しろなみ児童館	小学生と異年齢の保育所(園)、幼稚園、認定こども園の園児、就学前親子などが交流を持ち、親睦を深めることで、地域のつながりを強くします。	参加者数	320	250	人	交流事業として、地区文化祭やこども夏祭りの際に地域の異年齢児童と触れ合う機会を持つ予定でしたが、今年度の事業は中止としました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の事業は中止としました。	0	E	250	300	
166			73	児童館事業の充実(地区学習会)	しろなみ児童館	差別を解消する生き方を身に付けるために、人権・部落問題学習を進めます。	回数	165	210	回	自分たちの住んでいる地域のことや友達との関係など、生活上での課題について学習を進めました。	地域や友達などへの興味が深まり、大切さの実感が深まりました。	175	B	180	210	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
167			73	児童館事業（体験スクール）	まえがわ児童館	小学生を対象に、子どもたちが自分の将来の可能性を拓き、将来、社会のなかで自立していけることをめざして実施します。	延参加者数	792	1,000	人	小学生を対象に、毎週水曜日午後4時から5時まで実施する予定でしたが、中止した事業もありました。将来の可能性を拓き、自立促進のための様々な体験や野外活動研修等を行いました。	教室を通じて、参加児童が自ら考え行動し実現する経験を積み重ねた事により、自己肯定感の獲得、自尊感情の育成につながりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の中止や実施方法の再検討などにより、参加児童数は減少しました。	624	C	800	800	新型コロナウイルス対策により、子ども関連事業は学校の取り組み方法や休校などの影響で中止する場合があります。そのため、計画値を引き下げた。
168			73	児童館事業（チャレンジ教室）	まえがわ児童館	小学生を対象に児童館を拠点として、身体を動かし手先を使い、工作や調理の実習などを行い、仲間とともに活動することの大切さを学ぶため実施します。	延参加者数	114	250	人	土曜日午後1時30分から3時まで、小学生を中心に実施しました。工作教室等を実施し、子どもの居場所づくりに取り組みました。	教室を通じて、参加児童が自ら考え行動し実現する経験を積み重ねた事により、自己肯定感の獲得、自尊感情の育成につながりました。また、チャレンジ教室を居場所とする児童の参加が増大したため、事業の継続が必要です。	247	B	250	200	
169			73	児童館事業（土曜開館）	まえがわ児童館	小学生を対象に、基礎学力の定着を図り学力の向上をめざしてつげっ子塾、また心身を鍛え仲間の輪の構築をめざしてスポーツ教室を実施します。	延参加者数	136	100	人	自主学習会を午前9時から10時まで実施し、家庭学習の定着に向けて学習を行いました。	土曜開館の実施により、土曜日の居場所が必要な児童の参加が増大しました。改めて必要な児童に事業が行き届くように、事業のあり方を検討します。	247	AA	250	100	事業のあり方を検討し、土曜日の居場所づくりとして必要な児童が土曜開館を利用していていることから、目標値を引き上げた。
170			73	児童館事業（音楽教室）	まえがわ児童館	中学生を対象に、楽器演奏を通して反差別の仲間作りをめざして実施します。	延参加者数	152	200	人	水曜日午後6時から7時まで、楽器演奏を通しての仲間づくりをめざして実施しました。夏まつりや解放文化祭において発表を行いました。	音楽教室を通して、仲間づくりや人権について話し合いを行う事により、反差別の協働の取り組みができました。	181	B	200	200	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
171			73	児童館事業（交流事業）	老川児童館	小学校や中学校から年1回訪問してもらい、人権学習の支援や体験、交流の場とします。	延利用者数	67	120	人	小学校を訪問し3年生・6年生の人権学習を実施し、青山文化センター（老川児童館）の趣旨と概要、部落差別をはじめとする人権課題の解消への取り組みについて学習と交流を行いました。	学習の中で、青山地域における人権の取り組みを学ぶとともに交流を深める事ができました。児童の現状など、学校との情報交換を十分に行っていく必要があります。中学校での部落問題学習を課題等共有しながらともに進めていく必要があります。	122	AA	120	150	
172			73	児童館事業（講座・教室の開催）	老川児童館	青山小学校の児童を対象に多様な体験学習会を行います。	延利用者数	381	350	人	学校教育では経験できない体験学習や製作、スポーツ活動や人権学習などを通じて、心身ともに健全な児童の育成を図りました。	体験学習や人権学習などとおして、子どもの自主性や他者を思う気持ちを高めることができました。しかし、地域児童が減少しているため、事業参加児童の減少が予想されます。	160	D	200	400	新型コロナウイルスの影響により、R2年度と同程度の数値になることが見込まれる。また、児童数も減少しているため。
173			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	いがまち公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延利用者数	1,916	2,700	人	「都美恵の里郷土芸能保存会・都美恵太鼓」の練習参加や地域行事での太鼓演奏を通して、郷土芸能の継承と郷土文化に愛着を持ち、感性豊かな子どもを育成する活動を支援しました。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校の休校等で子どもを取り巻く環境が変わってきています。太鼓の練習、地域行事や大会への参加が激減する中で、郷土芸能の継承と郷土文化に愛着を持つ子どもをどう増やしていくかが課題です。	150	D	2,000	3,000	新型コロナウイルス感染防止のため、各回の定員及び開催回数を減らして実施を検討した。
174			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	島ヶ原公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	175	180	人	例年、地元鶴野宮神社の秋祭り为目标に獅子神楽の継承活動を行っていましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅で各自が練習を行う形に変えました。	本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、獅子神楽の取り組みを1回行っただけで子ども神輿等も出来ませんでした。今後は練習や行事の在り方について検討する必要があります。	17	D	100	200	新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小して実施を検討した。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
175			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	大山田公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	50	30	人	コロナウイルス感染防止対策のため、郷土文化等について学ぶ研修である「むらびと塾」の開催ができませんでした。	今年度は、コロナウイルス感染防止対策のため、「むらびと塾」の開催はできませんでしたので、次年度はオンライン等も検討して開催することが課題です。	0	E	30	40	
176			73	地域の伝統芸能・文化活動の支援	青山公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者	118	120	人	故郷を誇れる子どもを育てようと地域の特色を生かした体験講座を計画していましたが、ほとんどの事業が中止となりました。11月15日、伊賀市ミュージアム・大村神社を会場に「子ども俳句教室」を感染症対策をして開催し、11名の参加がありました。	今年度オープンした伊賀市ミュージアムと隣接する伝統ある神社で吟行し、俳句教室を開催することで、伊賀・青山の良さを感じてもらうことができました。参加者が集まって実施する事業だけでなく、「新しい生活様式」に対応したオンライン配信など、コロナ禍でも実施できる事業検討が必要です。	11	D	50	130	

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
177	3・子ども健全育成を推進するための体制づくり	① 非行防止の推進	74	青少年センターにおける補導活動の充実	生涯学習課	青少年の健全育成運動を推進し、地域社会全体で青少年の健全な育成に努めるため、街頭補導の充実を図るとともに、学校や各活動団体との情報交換を推進します。	巡回補導活動回数	308	310	回	関係機関の協力を得て、計画的な街頭補導活動を行いました。	新型コロナウイルス感染症拡大により中止もありましたが、随時補導に加え、定時補導・協働員補導・特別補導を実施しました。不審者情報や市民から通報のあった地域を重点的にまわったり、状況に応じた活動ができました。学校関係者などボランティアで補導活動に協力いただいている人材の確保が必要です。	289	B	310	310	
178			74	有害環境浄化活動	生涯学習課	青少年の健全育成のため、街頭啓発を実施し、市民の協力を得て、有害環境の浄化・改善を推進します。	回数	12	2	回	関係機関と連携し、街頭啓発や啓発講演会を行う予定でしたが、中止としました。	新型コロナウイルス感染症の拡大により、街頭啓発活動や講演会は実施できませんでしたが、街頭補導の際には、書店や遊技場関係者に、有害図書・玩具などの取り扱いについて協力をお願いしました。有害環境から青少年を守り育てるための取り組みを地域社会全体で一層推進していく必要があります。	0	E	2	2	任命立入調査員の活動がR2.3月で終了したため、事業内容及び目標値を変更しました。
179		② 子どもの活動支援	75	伊賀市のなかでの地域間交流の推進	生涯学習課	家庭・地域・学校などが連携して、伊賀市の一体化した団体として青少年育成活動を推進します。青少年健全育成事業や家庭教育講演会において、児童の交流を促進します。	回数	2	2	回	社会教育委員との共催で家庭教育事業「いがファミリーフェスタ」を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。また、令和2年度伊賀区こどもわかもの育成支援のための支部研修会として、「『SNSをめぐる諸問題』～青少年をとりまく現況～」を11月14日（土）に開催し、SNSに関わる問題や、子どもたちを犯罪などから守るために大人ができることについて理解を深めました。	1	C	2	2		

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
180			75	伊賀市のなかでの地域間交流の推進	スポーツ振興課	青少年健全育成事業やスポーツ少年団活動を通して児童の交流を促進します。	スポーツ少年団交流事業数	6	7	回	スポーツ少年大会を実施しました。	スポーツ少年大会は三重県と連携して、ACP（アクティブチャイルドプログラム）を実施し、久しぶりに子供達の楽しそうな笑顔を見ることができました。また、国体、オリンピック聖火展示との連携もできました。	1	D	5	7	
181			75	ジュニアリーダーの育成・活用	スポーツ振興課	スポーツ少年団のリーダーとしての役割の理解や資質の向上を図り、将来のスポーツ少年団指導者を育成するため、スポーツ少年団リーダーの養成に組織的に取り組みます。	ジュニアリーダー数	2	5	人	ジュニアリーダーの募集をしたところ1名の応募がありました。	会議や大会がほとんど開催されなかった中、一度だけ指導者を集めて開催した研修会で資料配布と説明をしました。しかし、該当する事業がほとんど中止となったため、今年度は1名のみ登録でした。	1	D	3	10	新型コロナウイルスの影響により事業の不透明であり、登録者数にも影響が出ると考えられるため。
182			75	子どもの活動を支援する団体の育成・支援	スポーツ振興課	少子化が進むなか、子どもの野外・文化・社会活動などを通して協調性や創造性を養うことを目的とし、青少年の健全育成のためスポーツ少年団への加入を促進します。	小学校児童数に対する加入割合	21	20	%	全小学校児童に少年団の取り組みについてのパンフレットを配布し、団員を募集しました。	全小学校児童4,184名に配布し募集しましたが、今年度の登録を見送った団もあったため、昨年度よりも減少しました。	16	B	18	25	新型コロナウイルスの影響により、登録者数にも影響が出ると考えられるため。
183			75	小学生・中学生の活動の場づくり	教育総務課	多くの地域住民や児童生徒が身近にスポーツが楽しめるよう市内全小中学校の体育館・グラウンド等を開放します。	開放施設数	31	30	校	学校施設の使用に関する規則等に基づき、市内小中学校の体育館・グラウンド等を開放しました。	感染防止のため、使用制限が必要であったことから、利用者の不満もありました。	30	A	29	29	
184			75	児童館事業の充実（こども夏まつり）《再掲》	しろなみ児童館	小学生と異年齢の保育所（園）、幼稚園、認定こども園の園児、就学前親子などが交流を持ち、親睦を深めることで、地域のつながりを強くします。	参加者数	320	250	人	交流事業として、地区文化祭やこども夏祭りの際に地域の異年齢児童と触れ合う機会を持つ予定でしたが、今年度の事業は中止としました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の事業は中止としました。	0	E	250	300	0
185			75	児童館事業の充実（地区学習会）《再掲》	しろなみ児童館	差別を解消する生き方を身に付けるために、人権・部落問題学習を進めます。	回数	165	210	回	自分たちの住んでいる地域のことや友達との関係など、生活上での課題について学習を進めました。	地域や友達などへの興味が深まり、大切さの実感が深まりました。	175	B	180	210	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
186			75	児童館事業（体験スクール）《再掲》	まえがわ児童館	小学生を対象に、子どもたちが自分の将来の可能性を拓き、将来、社会のなかで自立していけることをめざして実施します。	延参加者数	792	1,000	人	小学生を対象に、毎週水曜日午後4時から5時まで実施する予定でしたが、中止した事業もありました。将来の可能性を拓き、自立促進のための様々な体験や野外活動研修等を行いました。	教室を通じて、参加児童が自ら考え行動し実現する経験を積み重ねた事により、自己肯定感の獲得、自尊感情の育成につながりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の中止や実施方法の再検討などにより、参加児童数は減少しました。	624	C	800	800	新型コロナウイルス対策により、子ども関連事業は学校の取り組み方法や休校などの影響で中止する場合があります。そのため、計画値を引き下げた。
187			75	児童館事業（チャレンジ教室）《再掲》	まえがわ児童館	小学生を対象に児童館を拠点として、身体を動かし手先を使い、工作や調理の実習などを行い、仲間とともに活動することの大切さを学ぶため実施します。	延参加者数	114	250	人	土曜日午後1時30分から3時まで、小学生を中心に実施しました。工作教室等を実施し、子どもの居場所づくりに取り組みました。	教室を通じて、参加児童が自ら考え行動し実現する経験を積み重ねた事により、自己肯定感の獲得、自尊感情の育成につながりました。また、チャレンジ教室を居場所とする児童の参加が増大したため、事業の継続が必要です。	247	B	250	200	0
188			75	児童館事業（土曜開館）《再掲》	まえがわ児童館	小学生を対象に、基礎学力の定着を図り学力の向上をめざしてつげっ子塾、また心身を鍛え仲間の輪の構築をめざしてスポーツ教室を実施します。	延参加者数	136	100	人	自主学習会を午前9時から10時まで実施し、家庭学習の定着に向けて学習を行いました。	土曜開館の実施により、土曜日の居場所が必要な児童の参加が増大しました。改めて必要な児童に事業が行き届くように、事業のあり方を検討します。	247	AA	250	100	事業のあり方を検討し、土曜日の居場所づくりとして必要な児童が土曜開館を利用していただくことから、目標値を引き上げた。
189			76	児童館事業（音楽教室）《再掲》	まえがわ児童館	中学生を対象に、楽器演奏を通して反差別の仲間作りをめざして実施します。	延参加者数	152	200	人	水曜日午後6時から7時まで、楽器演奏を通しての仲間づくりをめざして実施しました。夏まつりや解放文化祭において発表を行いました。	音楽教室を通して、仲間づくりや人権について話し合いを行う事により、反差別の協働の取り組みができました。	181	B	200	200	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
190			76	児童館事業（交流事業）《再掲》	老川児童館	小学校や中学校から年1回訪問してもらい、人権学習の支援や体験、交流の場とします。	延利用者数	67	120	人	小学校を訪問し3年生・6年生の人権学習を実施し、青山文化センター（老川児童館）の趣旨と概要、部落差別をはじめとする人権課題の解消への取り組みについて学習と交流を行いました。	学習の中で、青山地域における人権の取り組みを学ぶとともに交流を深める事ができました。児童の現状など、学校との情報交換を十分に行っていく必要があります。中学校での部落問題学習を課題等共有しながらともに進めていく必要があります。	122	AA	120	150	0
191			76	児童館事業（講座・教室の開催）《再掲》	老川児童館	青山小学校の児童を対象に多様な体験学習会を行います。	延利用者数	381	350	人	学校教育では経験できない体験学習や製作、スポーツ活動や人権学習などを通じて、心身ともに健全な児童の育成を図りました。	体験学習や人権学習などをとおして、子どもの自主性や他者を思う気持ちを高めることができました。しかし、地域児童が減少しているため、事業参加児童の減少が予想されます。	160	D	200	400	新型コロナウイルスの影響により、R2年度と同程度の数値になることが見込まれる。また、児童数も減少しているため。
192			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	いがまち公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延利用者数	1,916	2,700	人	「都美恵の里郷土芸能保存会・都美恵太鼓」の練習参加や地域行事での太鼓演奏を通して、郷土芸能の継承と郷土文化に愛着を持ち、感性豊かな子どもを育成する活動を支援しました。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校の休校等で子どもを取り巻く環境が変わってきています。太鼓の練習、地域行事や大会への参加が激減する中で、郷土芸能の継承と郷土文化に愛着を持つ子どもをどう増やしていくかが課題です。	150	D	2,000	3,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各回の定員及び開催回数を減らして実施を検討した。
193			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	島ヶ原公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	175	180	人	例年、地元鶴野宮神社の秋祭り为目标に獅子神楽の継承活動を行っていましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅各自が練習を行う形に変えました。	本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、獅子神楽の取り組みを1回行っただけで子ども神輿等も出来ませんでした。今後は練習や行事の在り方について検討する必要があります。	17	D	100	200	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施を検討した。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
194			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	大山田公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者数	50	30	人	コロナウイルス感染防止対策のため、郷土文化等について学ぶ研修である「むらびと塾」の開催ができませんでした。	今年度は、コロナウイルス感染防止対策のため、「むらびと塾」の開催はできませんでしたので、次年度はオンライン等も検討して開催することが課題です。	0	E	30	40	0
195			76	地域の伝統芸能・文化活動の支援《再掲》	青山公民館	伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。	延事業参加者	118	120	人	故郷を誇れる子どもを育てようと地域の特色を生かした体験講座を計画していましたが、ほとんどの事業が中止となりました。11月15日、伊賀市ミュージアム・大村神社を会場に「子ども俳句教室」を感染症対策をして開催し、11名の参加がありました。	今年度オープンした伊賀市ミュージアムと隣接する伝統ある神社で吟行し、俳句教室を開催することで、伊賀・青山の良さを感じてもらうことができました。参加者が集まって実施する事業だけでなく、「新しい生活様式」に対応したオンライン配信など、コロナ禍でも実施できる事業検討が必要です。	11	D	50	130	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
196	3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり	①教育の支援 ②生活の支援	77	生活困窮世帯子どもの学習・生活支援事業	生活支援課	生活困窮世帯の小中学生・中学生を対象に、教科の学習、生活習慣の改善など子どもと保護者の双方に必要な支援を行います。	利用者数	-	10	人	対象となる世帯を支援員が訪問し、子どもへの学習指導のほか、生活面の課題等について保護者と相談するなどの支援を行いました。	子どもへの支援を通じて、保護者が継続的支援につながるなど効果をあげています。新型コロナウイルスの影響により、訪問、面談などの場面で特に感染予防対策が必要です。	8	B	11	14	
197			77	生活困窮者自立相談支援事業	生活支援課	生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、就労の支援、サービスや制度の利用に向けた関係機関との連絡調整や手続き支援、地域共生社会の実現に向けた地域づくりなど包括的な支援を行います。	新規相談者数	-	140	人	生活困窮者からの相談について、必要なサービスの利用や適切な関係機関へつなぐなどの支援を行いました。また、包括的な支援に向けて庁内関係課と検討・協議を行いました。	R2年度に相談拠点を増やしたところです。新型コロナウイルス感染症の影響により、相談件数が想定を超えて急増しています。包括的・継続的な支援が必要なケースも増加していますが、応急的な対応に追われており、体制の強化が必要です。	1,460	AA	700	180	新型コロナウイルス感染症の影響により相談件数が想定を超えて急増しています。
198			77	生活困窮者家計改善支援事業	生活支援課	生活困窮世帯の家計の課題を把握し、自身で家計管理できるよう支援計画の作成等を行い、早期の生活再建を支援します。	利用者数	-	15	人	支援を必要とする対象者に対し、家計の課題に関する相談や改善点の指導等を行い、経済的な生活再建を支援しました。	新型コロナウイルス感染症の経済的影響により、ニーズが高まっています。面談、訪問などの場面で特に感染予防対策が必要であり、配慮しながら事業を実施しました。	15	A	18	27	
199			78	地域食堂の設置への支援	医療福祉政策課	各地域において、児童を含む地域の人々の居場所づくりや世代間交流等を目的とし、貧困等課題を抱える児童に気づいた場合は関係支援機関につなげる役割も持つ地域食堂の設置を支援します。	地域食堂数	-	3	箇所	地域住民が主体的に行う地域食堂に対して、事業周知や社会福祉法人等の施設借用の手続き等、事業開催が円滑になるよう支援を行いました。	定期的に活動する地域食堂ができました。また、今後実施しようとする地域への支援も併せて行いました。	2	C	2	3	
200			78	生徒指導推進事業《再掲》	学校教育課	SSW（スクールソーシャルワーカー）を配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のための連携を強化します。	活動日数	-	88	日	SSWを配置し、ふれあい教室、児童相談所、児童家庭支援センターをはじめ、様々な関係機関との連携を進め、いじめ、不登校をはじめとする学校現場の多様な課題に対応し、早期発見、早期解決のために連携を強化しました。	2020（令和2）年度の相談ケース数はSSW2名で31ケース（小17・中14）となっています。いじめや不登校など諸課題が複雑化、多様化する中、今後より一層SSWの勤務を拡充し、関係機関と連携した対応を進めていく必要があります。	85	B	85	90	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
201	3.子どもの健全育成を推進するための体制づくり	③保護者に対する就労の支援	78	就労支援事業の促進	商工労働課	働く意欲がありながらさまざまな就労阻害要因を抱えるため、就労が実現できない就職困難者を対象に、職業相談員による相談を通じ、求人情報の提供や職業訓練への誘導などの支援を関係機関と連携し実施します。	巡回回数	198	190	回	職業相談員による巡回相談を実施しました。	職業相談員による巡回相談を実施しました。関係機関と連携し求人情報の提供などの支援を行い、就労阻害要因の解決を促しました。	205	AA	205	200	
202			78	母子・父子自立支援員や関係機関による相談・情報提供の充実《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行います。	延相談件数	250	300	件	ひとり親家庭の自立に向けた生活や就労等についての情報提供、相談指導等の支援を行いました。	ひとり親家庭の自立に寄与しました。	205	C	300	300	0
203			78	伊賀市自立支援教育訓練給付金事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、仕事に必要な資格や技術を身に付けるため、就業に結びつく可能性の高い教育訓練講座の受講料の一部を支給し、ひとり親家庭の親の主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立の促進を図ります。	件数	1	1	件	相談のなかで資格取得を促す事案もありましたが、申請に至りませんでした。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図りました。	ひとり親家庭の就労支援等について相談がある際には情報提供し、自立を促進しました。今後も引き続き市民への周知を行います。	0	D	1	1	0
204			78	伊賀市高等職業訓練促進給付金事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の親を対象に、就職や転職に有利な資格（看護師・保育士等）を取得するため、養成機関で訓練を受ける場合に、その受講期間について促進給付金を支給します。また、養成機関への入学時における負担を考慮し、修了支援給付金をカリキュラム終了後に支給します。	支給月数	24	12	月	資格取得を促すことにより、ひとり親家庭の安定した自立を促進しました。また、広報に掲載するほか、児童扶養手当の現況届案内時に啓発チラシを同封するなど、制度について周知を図りました。	ひとり親家庭の就労支援等について相談がある際には情報提供し、自立を促進しました。今後も引き続き市民への周知を行います。	20	AA	12	12	0
205			79	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援します。	助成者数	0	1	件	ひとり親家庭の親や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援する制度ですが、申請がありませんでした。	ひとり親家庭の実情に応じた支援を可能とし、必要に応じて情報提供を行いました。	0	D	1	1	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
206	3・子ども の健全育成を 推進するため の体制づくり	④経済的 支援	79	就学援助制度	学校教育課	経済的な事情で義務教育の費用にお困りの、所得条件該当者に対して、学用品費や給食費といった学校に納入した費用の一部を援助します。	就学援助人数	-	850	人	市民に広く周知し、提唱者が適切に援助が受けられるよう迅速に手続きを行いました。	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変した場合は、年度途中の申請でも認定日を4/1にさかのぼり支給しました。また前年所得によらず、直近の所得で可能としました。これらにより負担軽減につながったと考えています。制度の案内を全校配布及び広報への掲載にて行っており、認知度は高いと考えています。	746	B	865	900	
207			79	特別支援教育 就学奨励費	学校教育課	経済的な事情で義務教育の費用にお困りの、特別支援学級在籍で所得条件該当者に対して、学用品費や給食費といった学校に納入した費用の一部を援助します。	特別支援就学援助人数	-	350	人	市民に広く周知し、提唱者が適切に援助が受けられるよう迅速に手続きを行いました。	国の補助事業により、保護者の経済的負担を軽減することにつながっています。対象者を特定でき、それを基に案内しているため、意思確認がきちんと行えています。	367	AA	400	400	
208			79	幼児教育・保 育の無償化 《再掲》	保育幼 稚園課	幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳児から5歳児クラスまでの子ども、及び市民税非課税世帯の0歳児から2歳児クラスの子どもを対象に、幼児教育・保育の無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図ります。 また、3歳未満児クラスの保育料について、国制度を超えた第3子以降保育料無償化を引き続き実施します。	箇所数	-	42	所 (園)	管内にある認可保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等（病児保育事業・子育て援助活動支援事業・預かり保育事業・一時預かり事業を含む）について幼児教育・保育の無償化を実施するとともに、伊賀市独自の第3子以降の保育料無償化を実施することで、子育て世帯の負担軽減を図りました。	管内にある認可保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等（病児保育事業・子育て援助活動支援事業・預かり保育事業・一時預かり事業を含む）について幼児教育・保育の無償化と伊賀市独自の第3子以降の保育料無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図りました。	41	B	41	41	0
209			79	任意予防接種 費用の助成 《再掲》	健康推 進課	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成します。	インフル ンザ助成 数	4,937	4,800	件	乳幼児インフルエンザワクチン・おたふくかぜ等任意予防接種費用の一部を助成しました。	感染症予防対策として、継続して取り組みます。	4,902	AA	4,940	4,500	0
210			79	児童手当支給 事業《再掲》	こども 未来課	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当等を支給します。	受給者 数	5,813	5,815	人	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当を支給しました。	児童手当等の支給を通して、家庭における生活の安定と児童の健全育成につなげます。	5,691	B	5,815	5,320	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
211			79	子ども医療費助成制度《再掲》	保険年金課	中学校修了までの子どもを対象に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	9,579	9,300	人	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、中学校修了までの子どもの医療費を助成しました。	中学校修了までの子どもの医療費を助成し、受給者の福祉の増進と子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。	9,307	AA	9,300	8,400	0
212			79	児童扶養手当支給事業《再掲》	こども未来課	ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。	受給者数	568	581	人	ひとり親家庭等が安定した生活を送れるよう、児童扶養手当を支給しました。	ひとり親家庭の生活の経済的な安定と自立を助け、児童福祉の増進を図ります。	584	AA	581	532	0
213			79	一人親家庭等医療費助成制度《再掲》	保険年金課	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児については、医療費の窓口無料化を実施します。	登録者数	1,419	1,400	人	一人親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	一人親家庭等の対象者の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,393	B	1,400	1,350	0
214			80	特別児童扶養手当の支給《再掲》	こども未来課	身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。	受給者数	178	170	件	身体や精神に障がいのある20才未満の児童がいる家庭に対し、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するため特別児童扶養手当の申請受付等を行いました。	身体や精神に障がいのある児童の福祉増進を図ります。	186	AA	185	170	0
215			80	障がい者医療費助成制度《再掲》	保険年金課	身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方に医療費を助成します。 ※障害者保健福祉手帳1級または2級の方は通院分のみ助成	登録者数	1,582	1,600	人	障がいのある人の経済的負担の軽減を図るため、対象者の医療費を助成しました。	障がいのある人の医療費を助成し、受給者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図りました。	1,598	B	1,600	1,600	0
216			80	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業《再掲》	こども未来課	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、利用料の助成を行います。	件数	25	20	件	ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、申請に基づき利用料の助成を行いました。	生活困窮者またはその恐れがある世帯に対し、経済面で支援することで子育ての負担を軽減しました。	23	AA	20	20	0

4.仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考			
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画	
217	4・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	4-1 職業生活と家庭生活との両立支援	①ワーク・ライフ・バランスの推進	81	企業（職場）の理解を促進する情報提供の充実	商工労働課	企業訪問等により人事担当者などと面談を行いワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施します。	企業訪問数	258	270	件	企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聴き取り調査を実施し啓発を行うとともに、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進しました。	ワーク・ライフ・バランスについての啓発を、伊賀市人権学習企業等連絡会の会員に対してや企業訪問等で実施し、よりよい職場環境の形成を促進しました。	211	B	250	290	
218				81	働き方の見直しに関する労働者の意識啓発の推進	商工労働課	労働者向けのセミナーなどを開催します。	会議回数	1	1	回	企業・事業所に対し、経営者や管理職等を対象とした労働者向けのセミナーなどを開催しました。	経営者や管理職等を対象にしたイクボス講座等で働き方の見直しを啓発することにより、従業員が安心して働き続けられる職場環境の形成を促進しました。	1	A	1	1	
219				81	子育てを支援する各種制度の情報提供の推進	健康推進課	妊娠・出産時から子育て支援情報を提供するため、母子健康手帳の交付時とこんにちは赤ちゃん訪問時に「母子保健事業のご案内」を配布します。	配布数	545	554	部	妊娠・出産時から子育て支援情報を提供するため、母子健康手帳の交付時に「伊賀流未来応援の術」を配布し、こんにちは赤ちゃん訪問時には母子保健事業の情報提供をしました。	母子健康手帳配布時に「伊賀流未来応援の術」を配布し、伊賀市の母子保健・子育て支援の情報提供をしました。また転入手続きをされた妊婦や保護者へも配布しました。	542	B	532	502	
220				82	労働時間の短縮	商工労働課	すべての労働者が職業生活や家庭生活及び地域活動にともに参加できるよう、事業所に対して労働時間短縮に向けた啓発を実施します。	企業訪問数	258	270	件	企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聴き取り調査を実施し啓発を行うとともに、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進しました。	労働時間短縮に向けた啓発を、伊賀市人権学習企業等連絡会の会員に対してや企業訪問等で実施し、労働者の職業生活や家庭生活及び地域活動の充実を図りました。	211	B	250	290	
221				82	育児休業制度の普及	商工労働課	育児休業制度の定着を図り、利用しやすい環境づくりを企業とともに進めます。	企業訪問数	258	270	件	企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聴き取り調査を実施し啓発を行うとともに、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進しました。	育児休業制度の定着についての啓発を、伊賀市人権学習企業等連絡会の会員に対してや企業訪問等で実施し、制度を利用しやすい職場環境の形成を促進しました。	211	B	250	290	
222				82	就労支援事業の促進《再掲》	商工労働課	働く意欲がありながらさまざまな就労阻害要因を抱えるため、就労が実現できない就職困難者を対象に、職業相談員による相談を通じ、求人情報の提供や職業訓練への誘導などの支援を関係機関と連携し実施します。	巡回数	198	190	回	職業相談員による巡回相談を実施しました。	職業相談員による巡回相談を実施しました。関係機関と連携し求人情報の提供などの支援を行い、就労阻害要因の解決を促しました。	205	AA	205	200	0

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020（令和2）年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画	
223	4・仕事と生活の調和	4-1 職業生活と家庭生活の両立支援	③ 男女共同参画による子育ての推進	82	男女共同参画フォーラムの開催	人権政策課	男女共同参画社会実現に向け、フォーラム開催時に男性の子育てへの参画を啓発します。	参加者数	381	350	人	男女共同参画社会実現に向け、「さあ、一歩。誰もが秘めてる生き抜く強さで！」をテーマにフォーラムを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。	0	E	200	360	コロナ禍で三密を避けるため、人数制限が必要。
224				82	男女共同参画センター情報紙「きらきら」等を通じた意識啓発の推進	人権政策課	年4回発行の男女共同参画センター情報紙「きらきら」等を通じ、家庭や子育てにおいて男女がともに参画することの重要性の理解を深めます。	発行回数	4	4	回	男女共同参画に関する内容のコラムや、市が実施する講座事業について取り上げました。また、市民意識調査の結果、「伊賀市男女共同参画都市宣言」の認知度が低かったことから、一人でも多くの市民に周知するため、宣言内容を掲載しました。	コラムや市民意識調査の結果を掲載することで、家庭における男女共同参画の重要性について啓発する良い機会になりました。	4	A	4	4	
225				82	男性講座や出前講座の開催	人権政策課	男性講座や出前講座を実施し、男性が育児に関する知識を学習する機会を提供します。	回数	4	4	回	「快適なおうち時間のヒント！」と題して、育児男子講座を開催し、男性が家庭で子どもとよりよいコミュニケーションを図り、育児に参画する機会を提供しました。この他に「おとこの料理教室（2回）」「男女一緒に発見講座」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。	育児男子講座については、コロナ禍のなか、家族みんなが快適に楽しく過ごすためのヒントを提供しました。男性が育児に関わるきっかけになったと思います。	1	D	4	4	
226				82	ウェルカムベビー教室（両親学級）《再掲》	健康推進課	妊婦とその夫や家族を対象に、妊娠・出産に関する講話や妊婦体験、沐浴、心音聴取などの体験と情報交換の場、仲間づくりを目的として、土・日曜日に教室を開催します。妊娠中の生活、出産や育児について理解を深め、夫や家族の協力を得ることで家族が育児に積極的にかわれるよう支援を行います。	参加者数	85	80	組	妊婦とその家族に対して、妊婦体験や沐浴実習などの体験、赤ちゃんのいる生活や産後うつ予防の話、DVDの視聴などを通じて、出産や育児について理解を深めてもらいました。	感染予防対策のため1回の人数を減らし、回数を増やす形で実施しました。参加者数は減少しましたが、参加者の満足度は高く、出産や育児への理解を深めてもらうことができました。今後はオンラインでの実施も検討していきます。	53	C	64	80	今までは20組×4回の開催だったが、新型コロナウイルス感染防止のため16組×4回の開催を予定しているため。

計画の目標値等

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
227	計画の目標値等	2・幼児期の学校教育・保育	85・86	①1号・2号認定【3～5歳】	保育幼稚園課	3～5歳児で保育の必要性がない子ども（主に、専業主婦（夫）または短時間のパートタイム就労の家庭など）に対し、就学前教育を実施します。	幼稚園就園者数	260	204	人	3～5歳児で保育の必要性がない子ども（主に、専業主婦（夫）または短時間のパートタイム就労の家庭など）に対し、公立幼稚園、私立幼稚園、私立認定こども園において就学前教育を実施しました。	就園した児童に就学前教育を実施しています。	237	AA	195	179	量の見込みに基づく目標値設定
228			87	②2号認定【3～5歳】	保育幼稚園課	3～5歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。	入所者数	1,602	1,662	人	3～5歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、公立保育所、私立保育所、私立認定こども園において保育を実施しました。	保育の必要な子を受け入れ、それぞれの園で保育を実施しています。	1,581	B	1,592	1,461	量の見込みに基づく目標値設定
229			88	③-13号認定【0歳児】	保育幼稚園課	0歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。	入所者数	161	228	人	0歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、公立保育所、私立保育所、私立認定こども園において保育を実施しました。	保育の必要な0歳児を受け入れ、保育を実施しています。	173	B	222	206	量の見込みに基づく目標値設定
230			88	③-23号認定【1・2歳児】	保育幼稚園課	1・2歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。	入所者数	645	817	人	1・2歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、公立保育所、私立保育所、私立認定こども園において保育を実施しました。	保育の必要な1、2歳児を受け入れ、保育を実施しています。	651	B	803	746	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
231	計画の目標値等	3・地域子ども・子育て支援事業	90	①時間外保育事業(延長保育事業)《再掲》	保育幼稚園課	11時間の開所時間を超えて保育を実施します。	利用者数	18	20	人	公立保育所(園)9か所、私立保育所(園)8か所の計17か所で実施しました。	保育者の多様な就労形態のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。今年度については、コロナ禍で就労時間の短縮等のため利用者が減少したと考えられます。	17	B	20	18	量の見込みに基づく目標値設定
232			91	②放課後児童健全育成事業《再掲》	こども未来課	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図ります。	利用者数	低学年 463 高学年 83	低学年 658 高学年 85	人	共働き家庭が増えるなか、昼間保護者がいない児童の健全育成を図るため、適切な遊びや生活の場を提供し、希望する子どもが利用できるように努めました。また、待機児童の解消や未設置校区児童の利用について検討を行いました。	保護者の就労中の児童福祉向上に寄与しました。年度途中の退会者が増えていることで、安定した経営が困難となっています。未設置校区への設置に向けた協議、大規模小学校区の高学年の受入拡大への対応を検討していく必要があります。	低学年 598 高学年 83	B	低学年 646 高学年 89	低学年 611 高学年 103	量の見込みに基づく目標値設定
233			92	③子育て短期支援事業(ショートステイ)《再掲》	こども未来課	保護者の病気などの理由により、養育が一時的に困難となった場合や緊急一時的に保護を必要とする場合に、児童養護施設などで子どもを一時的に養育または保護します。	延利用者数	27	6	人日	家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設において一定期間、子どもを養育又は保護し、子ども及びその家庭の福祉向上を図りました。	家庭のニーズにあわせて預かり期間や場所等を調整し、その家庭が抱える課題へ適切に対応し、家庭での育児の負担を軽減することができました。	53	AA	6	6	量の見込みに基づく目標値設定
234			92	④地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)《再掲》	こども未来課	子育て支援の拠点として、親子が気軽に集える場の提供と、子育ての負担感の軽減と不安感の解消をめざし、子育て相談や情報提供を行います。	延利用回数	-	29,178	回	各子育て支援センターで通信を発行して利用者への情報を提供を行いました。また、子育て相談や各種教室を開催しました。	通信の発行により各センターの利用促進を図ることで、「孤育て」を未然に防ぎ、子育て世代の福祉向上に寄与しました。	14,844	C	21,984	25,398	量の見込みに基づく目標値設定 新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少した。
235			93	⑤-1一時預かり事業(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり)《再掲》	保育幼稚園課	幼稚園在園児の保護者の就労時間等の都合によって、降園時間後も引き続き預かります。	延利用者数	4,753	11,712	人	幼稚園及び認定こども園において、在園児の保護者の申出によって、降園時間後も引き続き預かり保育を実施しました。 白鳳幼稚園：3,871人 青山よさみ幼稚園：520人	保護者のニーズに応え、幼児教育認定保護者の子育てを支援しました。4月年度当初は、新型コロナウイルス緊急事態宣言で幼稚園は休園となったことで、利用者が少なくなっています。	4,391	D	11,712	10,294	量の見込みに基づく目標値設定のため、これまでの実績との隔たりが大きい。

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況					R6計画目標値	備考		
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績			R2評価	R3計画
236			94	⑤-2幼稚園以外での一時預かり事業(ファミリー・サポート・センター事業含む)	保育幼稚園課 こども未来課	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった子どもを一時的に預かります。	延利用者数	3,684	3,950	人	ハイトピア伊賀4階の子育て包括支援センター内で、直営で実施しています。	保護者のニーズに応え実施できる体制を整えましたが、今年度についてはコロナ禍の中自宅待機を行うことで、一時保育の利用が減少したと考えられます。	3,192	B	3,834	3,627	量の見込みに基づく目標値設定
237			95	⑥病児・病後児保育事業《再掲》	こども未来課	保護者の就労等の都合により、病児及び病気の回復期にある集団保育を受けることが困難な子どもを、専用施設で一時的に預かり安静を確保し保育します。	延利用者数	79	129	人	上野総合市民病院内で開設していた「くまさんルーム」は11月末をもって閉鎖し、12月1日より医療法人グリーンズウォードが伊賀市小田町内に開設したゆめこどもクリニック伊賀病児保育室へ業務委託し、病児保育事業を実施しました。 病児保育室を設置することで、保護者の子育てと就労の両立の支援を行いました。	病気の回復期にある幼児、児童を保護者に代わって一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。 新設した民間の病児保育室では、病気の児童への対応も可能となり、今後の利用促進が課題です。	78	C	178	326	量の見込みに基づく目標値設定のため、これまでの実績との隔たりが大きい。
238			96	⑦ファミリー・サポート・センター事業(就学児)	こども未来課	家庭において子どもの世話が一時的に困難となった小学生を一時的に預かります。	延利用者数	9	40	人	ファミリー・サポート・センターにおいて、放課後児童クラブ終了後等に保護者が小学生を監護できない時間帯に提供会員を派遣しました。	多様な働き方を応援し、安心して子育てができる社会づくりに寄与しました。	37	B	15	35	量の見込みに基づく目標値設定 新型コロナウイルスの影響により、利用者の減少が見込まれるため。
239			97	⑧利用者支援事業《再掲》	健康推進課	教育・保育施設や地域子ども子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報提供や相談、助言等を行います。	箇所数	1	2	箇所	妊娠中からの切れ目のない支援システムの整備を行い、ケースの支援計画作成と関係機関との連絡調整を行いました。母子保健及び子育て支援コーディネーターが情報共有を行いました。	妊娠期より個別支援計画を作成し、関係機関と連携を取りながら切れ目のない支援を実施しました。	1	C	1	2	量の見込みに基づく目標値設定

番号	基本目標	基本施策	頁	事業名	事業実施課	事業内容	指標	R1実績	2020(令和2)年度 実施事業の進捗状況						R6計画目標値	備考	
									R2目標	単位	事業の実施内容	事業の効果・課題	R2実績	R2評価			R3計画
240			98	⑨乳児家庭全戸訪問事業(ごんにちは赤ちゃん事業)《再掲》	健康推進課	生後4か月までの乳児がいる家庭を、助産師または保健師が訪問し、子育てに関する相談や支援が必要な人への、適切なサービスの提供につなげています。	件数	545	544	件	生後4か月までの乳児の家庭を全戸訪問しました。育児不安や育児環境等の確認を行い、相談に応じるとともに、必要な家庭に対しては支援につなげました。	感染対策を徹底し、対象者すべての訪問が来ています。	522	B	529	492	量の見込みに基づく目標値設定
241			98	⑩養育支援訪問事業《再掲》	健康推進課	養育支援が特に必要な家庭に対し、適切な養育の実施を確保するため、保健師、家庭児童相談員などが訪問し、養育に関する指導、助言、育児援助等を行います。	延訪問件数	188	180	件	継続支援が必要なケースに対して訪問を実施しました。必要に応じて各機関と連携し、情報共有を行いました。	特定妊婦やハイリスク家庭への訪問を継続的に実施しました。家児相や女性相談等と連携し情報共有に努めました。	201	AA	180	180	量の見込みに基づく目標値設定
242			99	⑪妊婦健康診査《再掲》	健康推進課	安心して妊娠、出産ができるよう妊婦健康診査にかかる費用を助成することにより、妊婦の健康管理の充実を図ります。	受診者数	7,002	7,560	人	14回分の健診費用を助成しました。	安心安全な出産のため、継続して取り組みます。	6,465	B	7,280	6,860	量の見込みに基づく目標値設定

計画事業数、評価内容別一覧

資料1-1

<参考>

所属別事業数

企画振興部	スポーツ振興課	3
人権生活環境部	人権政策課	3
	市民生活課	1
	しろなみ児童館	5
	まえがわ児童館	9
	老川児童館	5
健康福祉部	医療福祉政策課	6
	障がい福祉課	1
	こども未来課	58
	生活支援課	3
	保育幼稚園課	40
	地域包括支援センター	3
	保険年金課	12
	健康推進課	38
建設部	住宅課	1
産業振興部	商工労働課	6
教育委員会	教育総務課	1
	学校教育課	22
	生涯学習課	8
	いがまち公民館	3
	阿山公民館	1
	青山公民館	3
	大山田公民館	3
	島ヶ原公民館	3
	上野図書館(各分館)	3
	その他(複数課)	保育幼稚園課こども未来課
		242

- AA 100%を超えて実施
- A 100%実施
- B 70%以上100%未満
- C 50%以上70%未満
- D 50%未満
- E 未実施

目標実現のための施策

評価不能等

	AA	A	B	C	D	E	-	合計
1. 地域における子育て支援事業の充実	10	12	14	5	2	4	1	48
2. 安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり	12	14	20	5	5	7	6	69
3. 子どもの健全育成を推進するための体制づくり	28	17	19	11	15	9	0	99
4. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	1	2	4	1	1	1	0	10
計画の目標値等(再掲含む)								
幼児期の学校教育・保育	1	0	3	0	0	0	0	4
地域子ども・子育て支援事業	2	0	6	3	1	0	0	12
合計	54	45	66	25	24	21	7	242